

社会医療法人 寿量会
JURYOKAI 年報2021

熊本機能病院
介護老人保健施設 清雅苑
指定運動療法施設 熊本健康・体づくりセンター
ホームケアサポートセンター【訪問看護・訪問リハ・居宅介護事業所】
有明海リハビリテーションクリニック
なないろ森の保育園



沿革・概要

HISTORY & OVERVIEW

1

- 01 目次
- 02 社会医療法人 寿量会
- 03 熊本機能病院の理念
- 04 関連法人
- 05 理事長挨拶・院長挨拶

医療・介護活動のまとめ

SUMMARY OF MEDICAL CARE

2

- 06 月間MVT受賞チーム
- 07 SDGsへの取り組み
- 08 令和3年度の主な活動
表彰
- 09 診療科別患者数・紹介率
病棟種別 入院・退院経路
- 10 入院病名統計
- 11 入院時紹介元施設
退院時紹介先施設
- 12 入院患者診療圏
年度別 入院患者年齢層
- 13 平均在棟日数
クリニカルパス運用率
手術件数
- 14 インシデント・アクシデント報告状況
患者満足度調査

部署別報告

DEPARTMENTAL REPORT

3

- 15 整形外科
- 19 形成外科・小児形成外科
- 20 皮膚科
- 21 リハビリテーション科・脳神経内科・内科
- 23 耳鼻咽喉科
- 24 消化器外科
小児科
- 25 血管外科
- 26 循環器内科
- 28 リウマチ科
脳神経外科
- 29 救急科・外科
- 30 総合診療科
- 31 放射線科・地域医療連携画像診断センター
- 32 麻酔科
- 33 薬剤部
- 34 医学検査部
- 36 看護部
- 37 栄養部
- 38 総合リハビリテーション部
- 40 医療安全管理部門
- 42 医療連携部
- 42 熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平
(熊本市北3地域包括支援センター)
- 43 清雅苑 ホームケアサポートセンター
- 46 熊本健康・体力づくりセンター 通所介護 機能デイトレ
- 47 有明海リハビリテーションクリニック
- 48 なないろ森の保育園

社会医療法人 寿量会

社会医療法人 寿量会

熊本機能病院

院長:中島 英親
病床数:395床

一般病棟:138床
地域包括ケア病棟:55床
回復期リハビリテーション病棟:131床
障害者施設等一般病棟:71床

介護老人保健施設 清雅苑

施設長:野尻 晋一
入所:定員80床

- 通所リハビリテーションセンター:定員140名

指定運動療法施設

熊本健康・体力づくりセンター

所長:原田 栄作

- デイサービス機能デイトレ:定員20名

有明海リハビリテーションクリニック

院長:梶原 瑞恵

- 有明海通所リハビリテーションセンター:定員20名

ホームケアサポートセンター

- 訪問リハビリテーションセンター清雅苑
- 熊本機能病院在宅サービスセンター
- 訪問看護ステーション清雅苑

なないろ森の保育園

(熊本市保育所型事業所内保育事業)

園長:小池亜津子
定員:25名(0歳~2歳)

2022年9月1日現在

標榜科目

整形外科	形成外科	小児形成外科	脳神経外科
血管外科	麻酔科	放射線科	循環器内科
脳神経内科	リハビリテーション科	リウマチ科	内科
救急科	外科	皮膚科	消化器外科
耳鼻咽喉科	小児科	総合診療科	

救急・特殊センター

- 救急センター
- 農業外傷センター
- 循環器センター
- 国際口唇口蓋裂センター
- 神経生理センター
- 神経難病センター
- 人工関節センター
- 切断指肢再接着センター
- 四肢外傷センター
- 総合血管センター
- アノマリーセンター
- 地域医療連携 画像診断センター
- スポーツ外傷センター
- 骨粗しょう症センター

附設・併設施設

- 熊本加齢医学研究所
- 地域交流館

当院の患者さんや家族の方々の会

- 唇裂口蓋裂 親の会「あじさいの会」
- パーキンソン病 友の会「楽友会」
- 骨粗しょう症 患者の会

受託事業

- 熊本市北3地域包括支援センター
(熊本市高齢者支援センターささえりあ清水・高平)
- 熊本地域リハビリテーション広域支援センター

地域の方々の会

- NPO法人健康と幸せの会

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り 健康生活への奉仕をいたします

理念の実現のため、私たちは以下の項目を基本方針とします

私たちは人間の尊厳を守り、健康生活への奉仕をいたします



For Patients 患者さんのために

- 一貫した医療**
24時間体制、救急医療から疾病治療とリハビリテーション医療を通して生活自立支援までの一貫した医療を実践します
- 高度治療**
疾病の高度治療の充実をはかります
- 個人情報の保護**
職員は職務上知り得た個人情報を守ります
- チーム医療の実践**
高い専門性を持った多職種のスタッフが目的と情報を共有し、連携・補完し合い的確な医療を提供します

- パートナーシップ**
私たちは患者さんとのパートナーシップを最も重視します
- 医療安全**
安全はすべてに優先すると考えて医療を行います
- エビデンス**
エビデンス(科学的根拠)に基づいた医療を実践します

For Community 地域のために

- 地域包括ケア**
保健・医療・介護・福祉・地域生活の連携をはかります
- 社会還元・SDGsの実践**
健全経営を維持し、その成果を社会に還元してSDGsを推進します
- 「医療の谷間」解消**
地域における「医療の谷間」の解消への努力をします

For Staff 職員さんのために

- 教育・福利厚生**
人材は「人財」と考え、教育・福利厚生を積極的に行います
- 働きがいのある職場**
一人ひとりの自己実現・自己成長を支援し、働きがいのある職場風土を育みます
- 健康維持活動**
職員の健康を守るために活動します

社会福祉法人
寿量会

【開設年月日】 平成2年4月19日
 【管理者】 会長:米満 弘之
 理事長:米満 淑恵

特別養護老人ホーム天寿園
 特別養護老人ホーム天寿園青葉(地域密着型特養)
 特別養護老人ホーム天寿園NeO(地域密着型特養)
 指定居宅サービス事業所
 天寿園ショートステイ
 天寿園デイサービスセンター
 認知症対応型デイサービス今町ホーム
 ホームヘルプステーション
 グループホーム虹の家
 小規模多機能型居宅介護事業所 銀座通りハウス
 天寿園在宅サービスセンター(居宅介護支援)
 ケアハウス宝光庵
 受託事業:熊本市南5地域包括支援センターささえりあ天明

特定非営利活動法人
熊本県骨バンク協会(事務局)

【開設年月日】 平成17年6月8日
 【管理者】 理事長:宮本 健史
 組織管理者:中根 惟武

【基本理念】
 熊本県骨バンク協会は、同種骨移植術を要する人々に対し、安心・安全な同種骨を安定的に供給し、人々の健康及び移植医療の発展に寄与します

NPO法人
ジ・アース「かぼちゃの家」

【開設年月日】 平成18年8月8日
 【管理者】 理事長:米満 弘之
 施設長:東 明美

【基本理念】
 障がい者を中心に高齢者や子育てに渡る、広範な人に対するサービスを提供することで、相互のつながりを深めコミュニティ形成を促進することにより、地域社会の公益に寄与することを目的とする

NPO法人
健康と幸せの会

【開設年月日】 平成21年10月22日
 【管理者】 理事長:西 哲司
 副理事長:米満 弘之

【基本理念】
 熊本市北部地域を中心とした市民全般に対して、健康を幅広く捉え、医療・保健・福祉、文化面に至るまでの各分野の専門家による講演会開催事業を行い、市民のより健康で幸せな生活づくりに寄与することを目的とする

特定非営利活動法人
ソーシャルインクルージョン研究センター

【開設年月日】 平成24年6月1日
 【管理者】 理事長:米満 弘之
 センター長:若本 隆治

【基本理念】
 社会や家族から独立し排除、差別されている人々(障がい者・高齢者・刑余者・貧困層等)に対して健康で文化的な生活の実現につながるよう、社会の構成員として包み支えあうための社会福祉の実現に寄与することを目的とする

NPO法人
熊本高齢社会活性化研究センター

【開設年月日】 平成26年10月2日
 【管理者】 理事長:米満 弘之
 センター長:二塚 信

【基本理念】
 超高齢社会の到来が目前に迫る今日、介護や療養を必要としない高齢者を増加するための方法、健康な高齢者の就労支援の方法、地域包括ケアのなかでの活動の方法等を探究し、健康寿命の延伸や社会参加を通して、健やかで生き甲斐のある高齢社会の実現に寄与することを目的とする

お互いを助け合い
 「夢を持ち、前を向いて」
 歩んでまいりましょう。

社会医療法人 寿量会 理事長
 米満 弘一郎



2021年度の法人活動レポートが完成しました。価値ある病院の要件の1つは、自らが行っている医療活動を正確に振り返り検討し、改善につなげることであります。コロナ禍早期では、柔軟かつ挑戦できる地域医療が試されました。コロナ禍が長期にわたると、地域医療の忍耐力やチーム力が試されました。病院経営においては、決して上手な舵取りができたわけではなく、日々を乗り切ること懸命となる状況でしたが、法人の全員がお互いを助け合い、2021年から2022年へと地域医療に貢献してまいりました。地域に貢献する病院として「夢を持ち、前を向いて」あゆみを進めてまいりましょう。

コロナ禍に順応しながらも
 基本の取り組みは忠実に

熊本機能病院 院長
 中島 英親



2020年に日本国内でコロナ感染者が発生して以来、収束することなく2021年に入り、ワクチンの接種が積極的に行われ、今後はウイルスを抑制する薬へと開発が進んでいくと期待しています。コロナ感染に対抗するため、2021年1月より発熱外来の患者にLAMP法による検査を開始しました。コロナ疑いの場合LAMP法を施行し、コロナ濃厚接触患者が早目の検査を受け抗原を調べることで、院内感染が突然増加することなくこれまで乗り越えてこられたと思っています。しかし当院での第6波における発熱外来の1ヶ月の検査数は平均400~500名と増加し、ピーク時は700名を超えました。より一層気を引き締めて難局を乗り越えなければならないと感じています。

コロナ禍の中、オンライン診療・オンライン面会を開始し、またZoom等を活用した勉強会・研修会、学会の参加を継続することで、医療の質の保持に努めました。また、医療の根幹をなす安全に関しては、「医療安全管理」「院内感染管理」「医療機器安全管理」が重要であり、週・月単位で事象原因の追究をし、記録・分析をして質の高い医療体制の構築に努めています。平成28年度に導入した「バランス・スコアカード(BSC)」が今年で6年となり、職員各々がコロナ禍での経営を考えることができたと思います。これからも思い切った対策が必要ではありますが、体制を整え、病院の基本方針である「医療の質の向上」「医療安全の確保」「医療経営の安定した発展」への取り組みを継続してまいります。

2021年度月間MVT受賞チーム

平成25年度より継続して、法人内における様々な活動を取り上げ、表彰する「月間MVT表彰」を行っています。各種表彰や資格取得など、対外的に評価されるものに限らず、法人内におけるサービス向上を目的とした取り組み、その他のボランティア活動やサークル活動まで、幅広く対象としています。

毎月の受賞チームは、各部署からの推薦を受け、幹部会議で決定されます。

表彰を行うことで、普段関わることの少ない部署の取り組みや努力を知る機会を作ることを目的としており、受賞チームにはチームの集合写真を収めた記念カードが授与されます。



事務部



職員向け新型コロナワクチン接種プロジェクトチーム



11病棟看護師チーム



総合リハビリテーション部
浦川明日香さん・後藤向日葵さん



医療連携部



なないろ森の保育園



ニューロアクティベーション
リハビリテーションセンター



医事課 外来予約センター
(発熱外来)

表彰月	チーム名	主な表彰理由
5月	事務部	外来で患者さんを探していることが分かり、すぐに事務所に伝え、役割分担を申し分けて迅速に行動。無事に患者さんを早期発見することができた。
6月	職員向け新型コロナワクチン接種プロジェクトチーム	職員のコロナワクチン接種開始に向けてプロジェクトチームを作り、準備から実施まで円滑に進め、破棄を出すことなく遂行されている。体調不良等の変更にも柔軟に対応している。
7月	11病棟看護師チーム	新型コロナウイルス感染症患者受入病棟にて、感染リスクのある中、患者さんの日々の体調確認やメンタルケア、直接会話が出来ない分タブレットを使用し懸命に業務に従事している。
8月	総合リハビリテーション部 浦川明日香さん・後藤向日葵さん	自転車の接触事故を目撃。自転車が横転し、中学生が転倒していたため状態を確認。足に出血があり、止血などの処置を適切に行った。
10月	医療連携部	新型コロナウイルス感染症患者受入に際し、第4波からは土日関係なく行政や他の医療機関と調整を行った。退院支援も他職種で情報を共有し、退院後の方向性を家族と決定している。
11月	なないろ森の保育園	コロナ禍でマスク装着が難しい年齢の園児が多い中、感染対策に気を配り、職員・園児ともに一人の感染者を出すことなく通常保育を続けている。イベント事も感染対策に気を配りながら工夫して園児・保護者が楽しめる機会を作っている。
12月	ニューロアクティベーション リハビリテーションセンター	患者さんにより良いリハビリテーションを提供するため、ウェルウォークなどの導入を検討する際に選定・導入に向けた計画を行い、各学会やメーカーによるデモ等に積極的に参加し、情報収集も行っている。
2月	医事課 外来予約センター (発熱外来)	通常の業務を維持しながら、5月からの抗原検査、12月からの遺伝子検査(LAMP法)と新型コロナウイルス感染症の検査業務も精力的に取り組んでいる。

※都合により、4月、9月、1月、3月の表彰はありません。

当院でのSDGsの取り組み

～ 熊本県SDGsの登録事業者に～

熊本県SDGs登録制度は、熊本県内の企業や団体等が自らの活動とSDGsとの関連性を認識し、SDGsの達成に向けた具体的な取組みを推進することにより、SDGsの普及を促進することを目的とします。併せて、新たな価値の創造を促し、その取組みの「見える化」による地域の自律的好循環の形成につなげることで、熊本の特性を生かした持続可能な社会と、SDGsを原動力とした地方創生の実現を目指します。

医療に従事する者として、地域住民の方々、すべての人々が安心して住み続けられるまちづくりのために保健・医療・介護・福祉サービスで地域社会の形成に寄与していくことは勿論の事、他にも自分達にできることを常に意識し、今まで以上に責任を持ってSDGsに取り組んでいきたいという思いから、熊本県登録制度に申請することといたしました。SDGsについて知れば知るほど奥深く、私達に出来ることがもっとあるのではないかと思います。これからも環境のために、社会のために何が出来るのか考えながら新しい取り組みにチャレンジしていきたいと思っております。



環境・社会・経済の三側面からのSDGsに関する重点的な取組み及び指標

- ペーパーレス化の拡大(申請書類・稟議決裁等の電子化によるペーパーレス化)
- 取引先企業において県内企業(地場企業)の割合を増やし、地域経済を活性化させる
- 病院食における残菜の減少

その他当法人のSDGsへの取り組み

- 省エネ法の特定事業者として省エネに取り組み、定期報告書と中長期計画書を提出しており、事業者クラス別評価制度ではSクラスを維持している。
- エネルギー構成を見直し、CO₂削減に取り組んでいる。温対法の温室効果ガス算定排出量等の報告書を提出している。事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。
- すべての給水設備に節水器具を設置している。「給水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。
- 昭和56年の開設以来、地域住民と防火防災訓練を実施し、地域事業所の見学も受け入れるなど、防火防災活動の連携を図っている。地域一体の防火防災協力体制の確立に努めている。「災害時における井戸水の提供に関する協定」を締結し、災害用井戸を登録している。



地域住民との防火防災訓練

令和3年度の主な活動

月 日	内 容
4月1日	2021年度 寿量グループ入社式 「総合診療科」開設 「地域ケア支援センター」から「ホームケアサポートセンター」へ名称変更
4月3日	なないろ森の保育園 入園式
4月23日・30日	BSCスプリングレビュー
5月24日	新型コロナワクチン接種開始(かかりつけ・コールセンター枠)
7月2日	第2期 令和塾スタート
8月16日	令和3年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞(火災予防関係・団体)
8月24日～	東京パラリンピック 日本選手団帯同(東利雄PT)
8月28日	熊本市循環器悪化防止対策モデル事業 市民公開講座「心臓を守る」(熊本健康・体力づくりセンター)
9月17日	熊本機能病院開設40周年記念整形外科講演会(Web開催)
11月5日・12日	BSCオータムレビュー
11月8日	救急車活用モデル事業開始
1月26日	熊本県SDGs登録事業者 登録
3月	熊本機能病院開設40周年記念 「ごめん もう歩けん ～希望と共に歩んだ道～」発行
3月26日	なないろ森の保育園 卒園式

表彰

令和3年『安全功労者内閣総理大臣表彰』受賞



熊本日日新聞2021年8月18日付 朝刊▶



令和3年度(2021年)医療実績

診療科別患者数・紹介率

	外来(人)			入院(人)		紹介率(%) (救急車含)
	新患	再診	1日平均	年合計	1日平均	
整形外科	9,788	51,826	210	2,145	173	20.8
形成外科・小児形成外科	1,226	8,286	34	366	11	46.3
脳神経内科・リハビリテーション科・内科	1,540	13,329	51	620	98	54.2
循環器内科	477	10,504	37	183	11	54.7
血管外科	211	1,340	8	79	2	46.4
脳神経外科	117	4,301	23	137	6	61.1
リウマチ科	17	1,304	7	3	1	0.0
救急科・外科・総合診療科	2,802	5,498	29	506	39	28.6
皮膚科	115	851	19	0	-	11.2
消化器外科	203	438	3	9	-	13.5
耳鼻咽喉科	76	203	2	0	-	23.5
小児科	84	404	4	1	-	18.4
合計	16,656	98,284	427	4,049	341	(平均)26.4

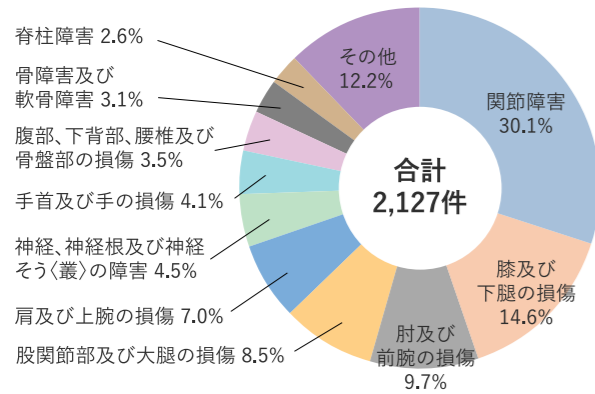
病棟種別 入院・退院経路

入院の経路	入院病棟				
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期 リハビリテーション病棟	障害者施設等 一般病棟	全体
外来より	2,179	224	34	173	2,610
救急外来より	519	27	16	69	631
転院	146	78	346	41	611
清雅苑より	13	0	0	4	17
その他の老健や施設より	24	0	0	8	32
合計	2,881	329	396	295	3,901

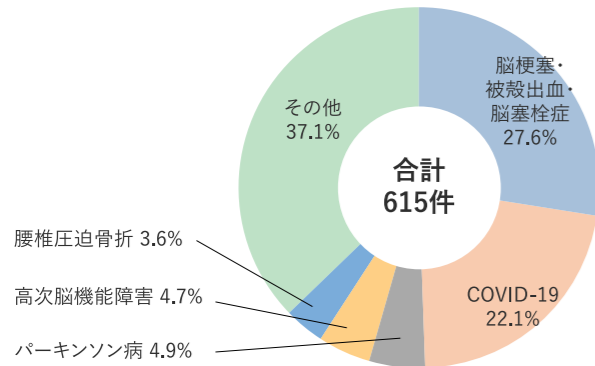
退院の経路	退院病棟				
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期 リハビリテーション病棟	障害者施設等 一般病棟	全体
在宅(外来-当院)	1,842	642	537	192	3,213
在宅(外来-他院)	70	68	106	12	256
転院	79	13	61	28	181
施設入所	64	31	105	24	224
死亡	23	2	0	5	30
合計	2,078	756	809	261	3,904

入院病名統計

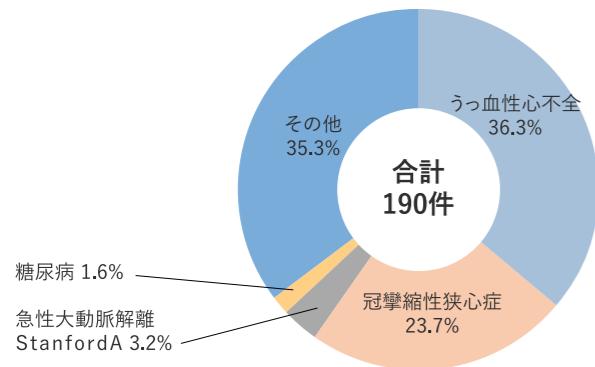
整形外科・リウマチ科



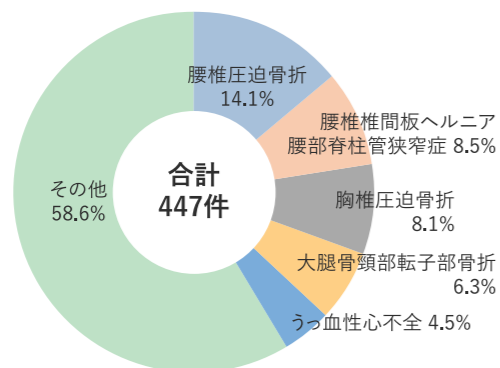
脳神経内科・リハビリテーション科・内科



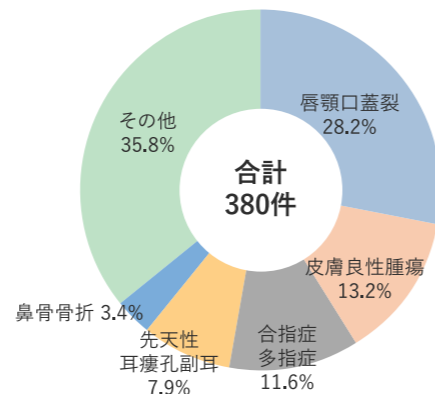
循環器内科



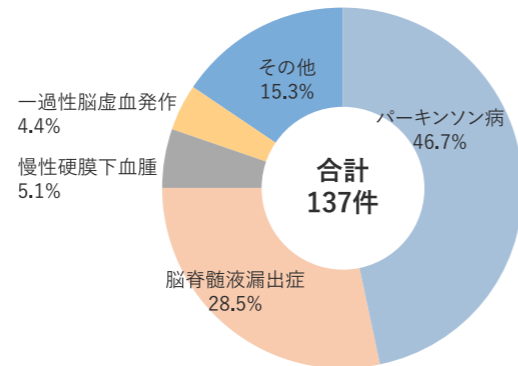
救急科



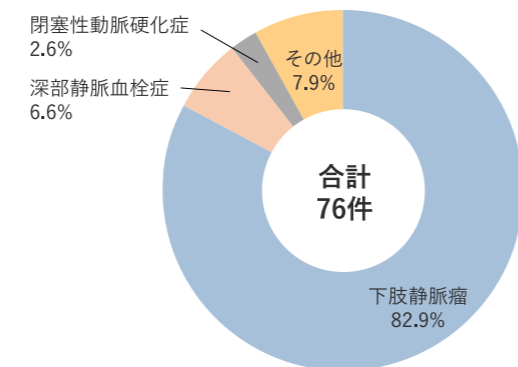
形成外科・小児形成外科・皮膚科



脳神経外科



血管外科



入院時紹介元施設 患者割合 上位30位

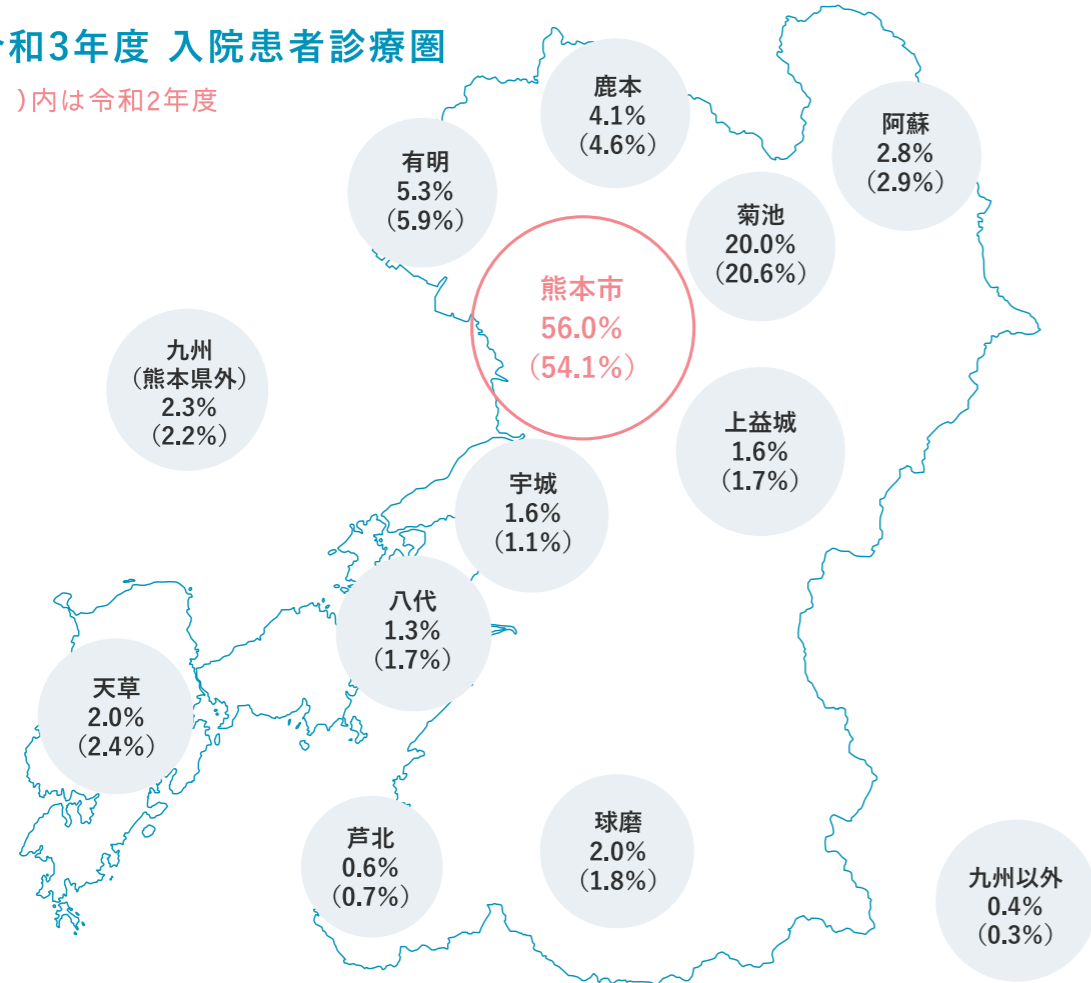
順位	医療機関	患者数	R3	R2
1	国立病院機構熊本医療センター	171	11.3%	13.3%
2	熊本赤十字病院	164	10.8%	11.4%
3	熊本市保健所	109	7.2%	-
4	熊本大学病院	80	5.3%	5.9%
5	済生会熊本病院	47	3.1%	3.8%
6	たぐち整形外科クリニック	45	3.0%	3.9%
7	熊本未来クリニック耳鼻咽喉科	45	3.0%	4.8%
8	森田整形外科医院	26	1.7%	1.1%
9	熊本市市民病院	22	1.5%	1.5%
10	なかがわ整形	20	1.3%	0.8%
11	清雅苑	17	1.1%	0.6%
12	熊本整形外科病院	16	1.1%	1.3%
13	熊本中央病院	16	1.1%	1.5%
14	城間整形外科	15	1.0%	0.4%
15	佐賀大学医学部附属病院	13	0.9%	0.8%
16	岩本整形外科	12	0.8%	0.8%
17	松元整形・外科	12	0.8%	0.6%
18	あさはら整形外科	11	0.7%	0.8%
19	寺尾病院	10	0.7%	0.1%
20	藤原クリニック	10	0.7%	0.7%
21	くまもと県北病院	9	0.6%	-
22	熊本労災病院	9	0.6%	0.6%
23	城間クリニック	9	0.6%	0.5%
24	川口病院	9	0.6%	0.8%
25	下田内科クリニック	8	0.5%	0.3%
26	熊本セントラル病院	8	0.5%	0.3%
27	松永整形外科リウマチ科	8	0.5%	0.3%
28	大坂整形外科医院	8	0.5%	0.3%
29	アラキ整形外科	7	0.5%	0.4%
30	かとう整形外科 光の森	7	0.5%	0.3%

退院時紹介先施設 患者割合 上位30位

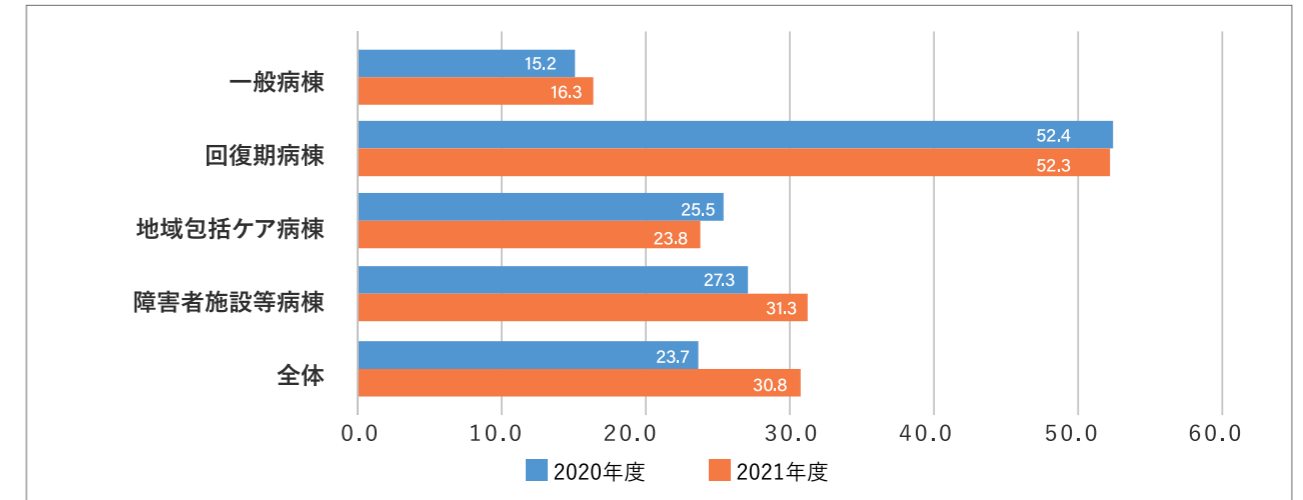
順位	医療機関	患者数	R3	R2
1	清雅苑	64	11.5%	7.0%
2	熊本大学病院	29	5.2%	5.1%
3	国立病院機構熊本医療センター	25	4.5%	5.5%
4	熊本赤十字病院	17	3.0%	6.0%
5	北部病院	13	2.3%	2.5%
5	菊南病院	12	2.2%	2.5%
7	くまもと成城病院	10	1.8%	0.4%
8	済生会熊本病院	8	1.4%	1.6%
8	くわのみ荘	7	1.3%	0.4%
8	むべの里	7	1.3%	0.2%
8	熊本市市民病院	7	1.3%	0.6%
12	中山記念病院	7	1.3%	2.3%
13	朝日野総合病院	7	1.3%	0.6%
13	八景水谷昭和館	7	1.3%	1.6%
13	熊本中央病院	6	1.1%	1.6%
13	西日本病院	6	1.1%	0.4%
17	国立病院機構熊本再春医療センター	5	0.9%	1.6%
18	ココファン麻生田	4	0.7%	-
18	たぐち整形外科クリニック	4	0.7%	1.2%
18	熊本整形外科病院	4	0.7%	0.4%
18	熊本未来クリニック耳鼻咽喉科	4	0.7%	0.8%
18	孔子の里	4	0.7%	-
23	青磁野リハビリテーション病院	4	0.7%	-
23	八景水谷クリニック	4	0.7%	1.2%
23	イエズスの聖心病院	3	0.5%	0.4%
23	かじお温泉翔裕園	3	0.5%	-
23	かなごぎ苑	3	0.5%	0.2%
23	ナカシマセブクリニック	3	0.5%	0.2%
23	なでしこ	3	0.5%	-
23	ハイコムライフ武蔵ヶ丘	3	0.5%	0.2%

令和3年度 入院患者診療圏

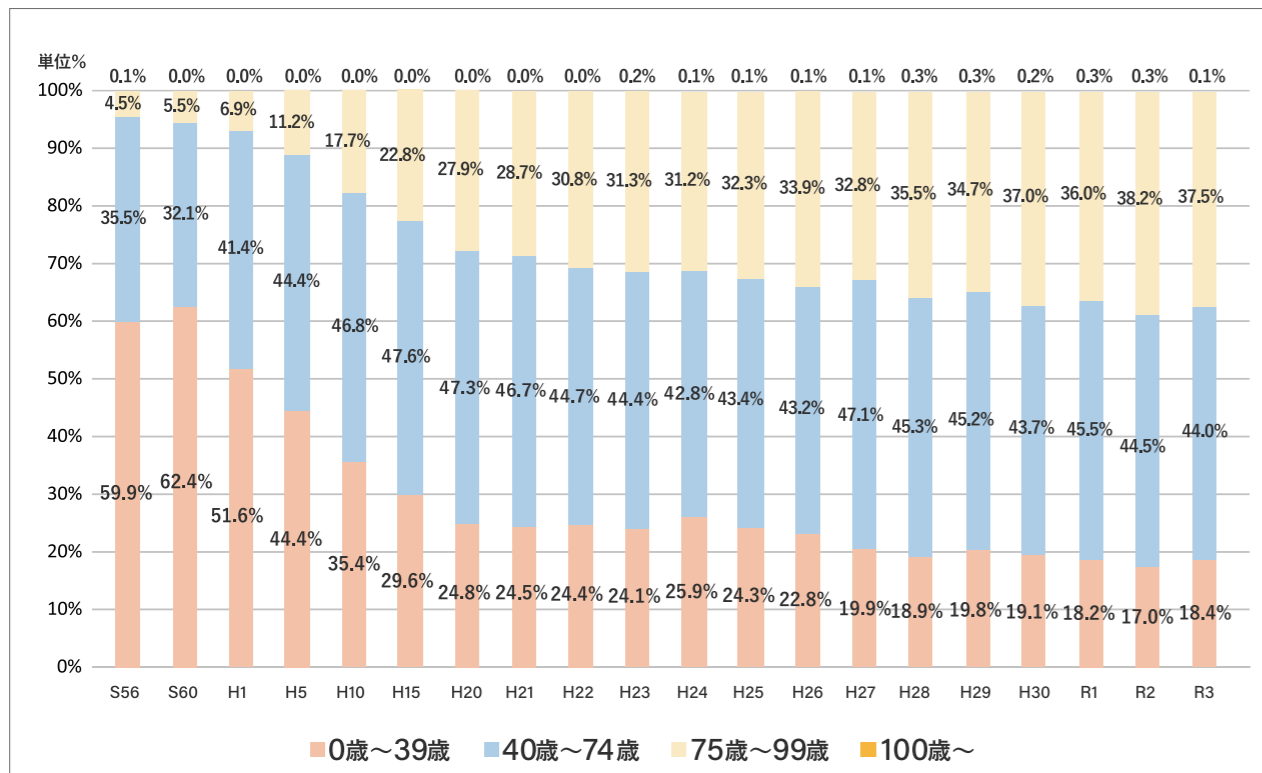
()内は令和2年度



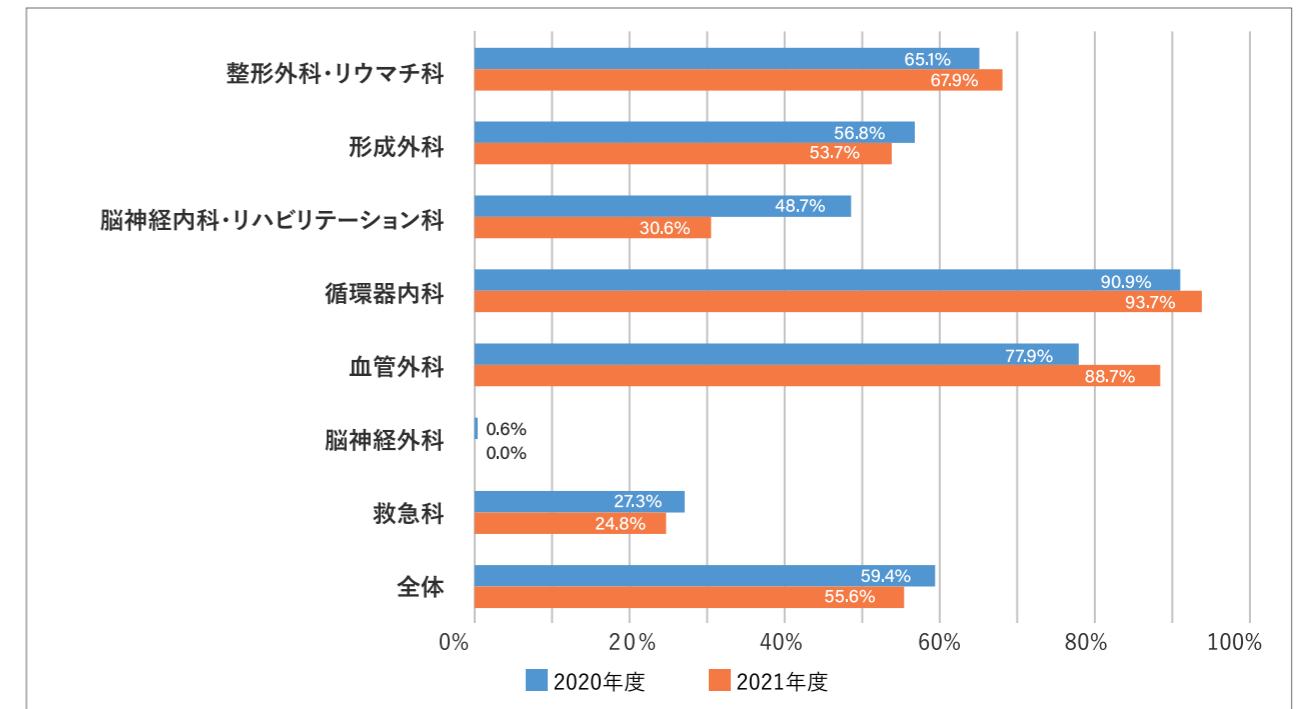
平均在棟日数



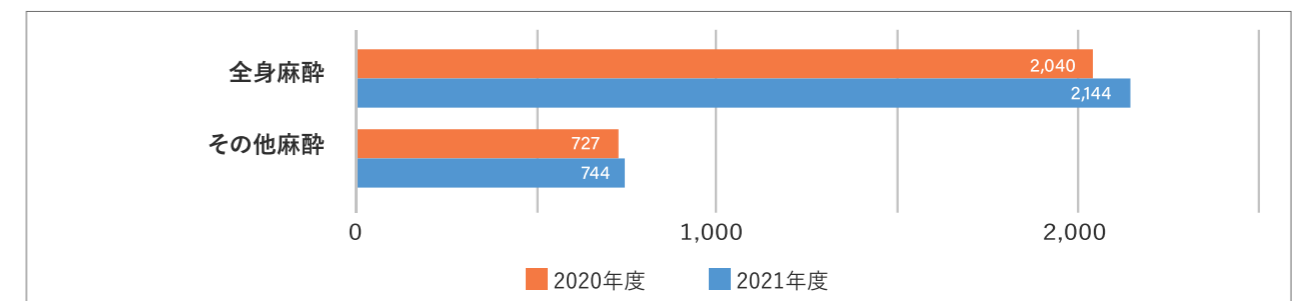
年度別 入院患者年齢層



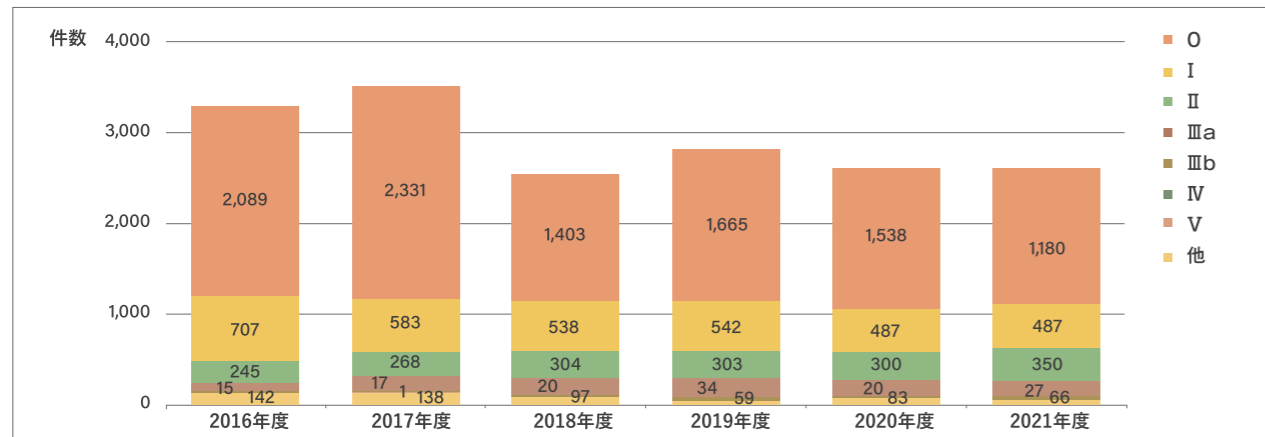
臨床パス運用率



手術件数 ※手術件数の詳細は各科にて記載



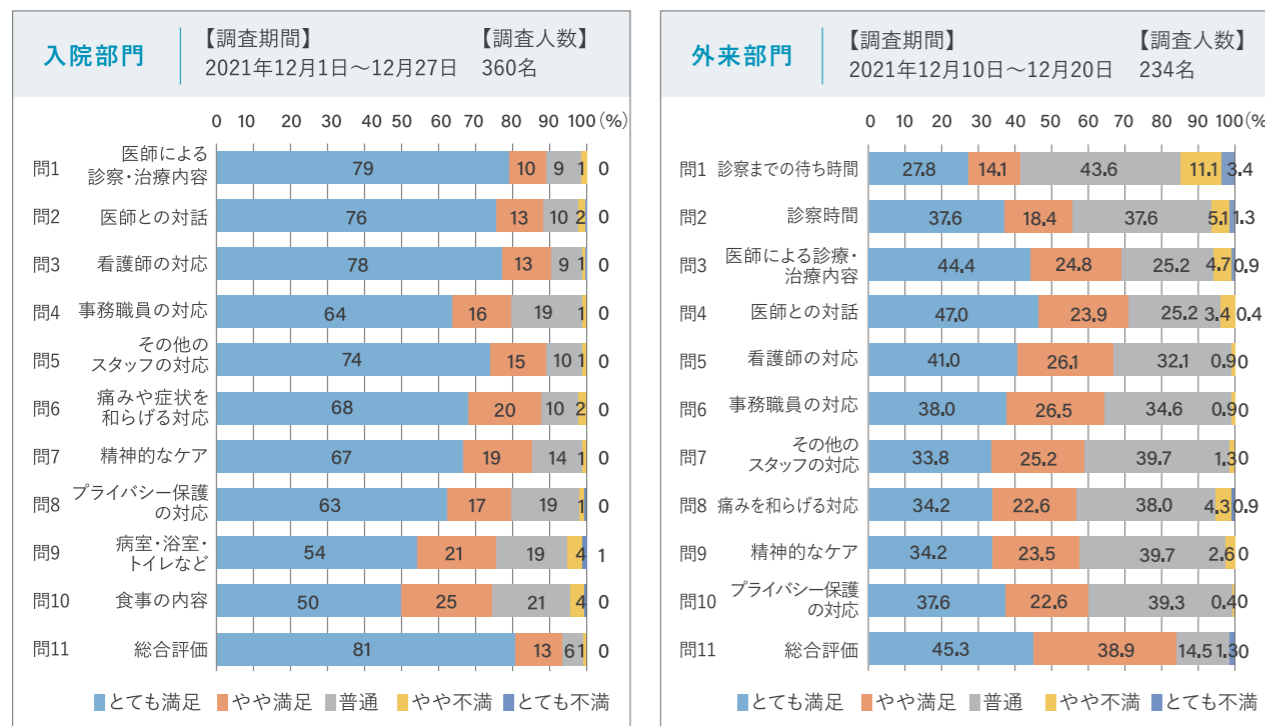
インシデント・アクシデント報告状況



インシデント及びアクシデントの分類

分類	患者への影響度 (事故区分)	内容
インシデント	レベル0 (ヒヤリハット)	仮に実施されていても患者への影響は小さかった (処理不要) 仮に実施されていた場合患者への影響は中等度 (処置が必要) 仮に実施されていた場合患者への影響は大きい (生命に影響する)
	レベルI	実施されたが、患者への実害はなかった (何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベルII	処置や治療は行わなかった (患者観察の強化、バイタルサインの軽度化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
アクシデント	レベルIIIa	簡単な処置や治療を要した (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
	レベルIIIb	濃厚な処置や治療を要した (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
	レベルIV	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
	レベルV	死亡 (原疾患の自然経過によるものを除く)
	その他	患者が関わらない事例

患者満足度調査



整形外科

専門性を活かして診療に取り組む

整形外科では、外傷から変性疾患まで、幅広い症例に対応しています。

特に人工股関節・膝関節、関節鏡を用いた手根管開放術、神経縫合を含むマイクロサージャリーなど専門性を生かした手術に取り組んでいます。また、救急外傷 (指切断、開放骨折、大腿骨頸部骨折、圧迫骨折、神経損傷) の患者さんへの対応にも力をいれています。

手術後もリハビリテーションを早期から開始し、チーム体制で退院後の患者さんのQOL (生活の質) 向上に努めます。



手術実績 (上肢)

手術名	R2	R3
手根管開放術 (直視下・鏡視下)	117	140
骨接合術 (橈骨遠位端・上腕骨近位端・肘関節周囲骨折)	136	146
腱鞘開放術	150	146
マイクロサージャリー (神経・血管)・再接着	13	12
肩関節鏡視下手術	29	18
肘部管開放術	12	16
肘・手関節鏡視下手術	9	2
その他	366	394
合計	832	874

1日平均 / 外来患者数
210人
(うち初診 33人)

1日平均 / 入院患者数
173人

手術件数
2,086件

手術実績 (下肢)

手術名	R2	R3
人工膝関節置換術	297	286
人工膝関節単顆置換術 ※人工膝関節単顆置換術はR3年度より別に集計	-	36
人工股関節置換術	199	256
膝関節鏡視下手術 (半月板部分切除 含)	160	161
骨接合術 (大腿骨転子部・大腿骨頸部)	113	104
人工骨頭置換術 (大腿骨頸部骨折)	66	59
膝前十時靭帯再建術	19	34
人工股関節再置換術	6	5
人工膝関節再置換術	2	5
その他	287	266
合計	1149	1212

当院では人工股関節置換術、人工膝関節置換術で手術支援ロボットが使用可能です



2020年1月7日よりロボティックアーム「Mako®」を導入しています。【熊本県初、九州2例目】

ロボティックアームとは

コンピュータ制御された「機械の腕(アーム)」のことで、自動で動くものや人が操作して動かすものなどがあります。

ロボティックアーム「Mako®」は医師が操作して動かすもので、傷んでいる骨を切除したり、人工関節の正確な設置をサポートします。

ロボティックアームの利点は？

「ぶれることがない」「正確に動く」「止まる」です。人工関節置換術で使用すると、事前に計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。

ロボティックアームは少しでも計画から外れた動きをすると停止します。身近なものに例えると、車の自動ブレーキのようなもので、治療計画にない動き、つまり、削ったり切除する必要のない部位にさしかかると停止する仕組みになっています。

ナビケーションシステムと合わせて使用することで、治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。



医師



名誉院長・診療統括顧問
中根 惟武 (昭和45年卒)

専門分野 股関節・膝関節外科
(人工関節・関節鏡視下手術)
老人骨折・骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
日本整形外科学会[専門医]
日本人工関節学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会[認定臨床医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



院長・切断指肢再接着センター長
中島 英親 (昭和46年卒)

専門分野 整形外科・形成外科・手外科
スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野

資格・学会等

日本マイクロサージャリー学会[名誉会員]
日本整形外科学会[専門医/認定スポーツ医]
日本形成外科学会[専門医]
日本手外科学会[特別会員/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



高橋 修一郎 (昭和50年卒)

専門分野 膝関節外科

資格・学会等

日本整形外科学会専門医/認定スポーツ医



名誉副院長
重本 弘文 (昭和46年卒)

専門分野 リハビリテーション科
整形外科

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
日本整形外科学会[専門医]
臨床義肢装具適合判定講習修了医
回復期専従医講習修了医



副院長・診療統括部長
寺本 憲市郎 (平成3年卒)

専門分野 手外科
機能再建外科
(マイクロサージャリーを含む)

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]
日本手外科学会[代議員/指導医/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本マイクロサージャリー学会[会員]



理事長補佐・人工関節センター長
臨床研究推進センター臨床研究支援室 室長

高橋 知幹 (平成9年卒)

専門分野 股関節・膝関節外科
人工関節置換術
骨切り術
関節鏡手術

資格・学会等

日本整形外科学会[専門医]
日本人工関節学会[認定医]
日本組織移植学会[認定医]
特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会理事
指定難病医療費助成制度[指定医]



関節外科部門長・骨粗しょう症センター長
清田 克彦 (平成7年卒)

専門分野 膝関節・股関節外科
運動器疼痛
骨粗鬆症

資格・学会等

特定非営利活動法人熊本県骨バンク協会運営
委員会 個人情報管理責任者
日本整形外科学会[専門医]
日本骨粗鬆症学会[認定医]
日本組織移植学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]

医師



長井 卓志 (昭和60年卒)

専門分野 整形外科・手外科・スポーツ外傷
マイクロサージャリー分野


資格・学会等 日本整形外科学会[専門医/認定スポーツ医]



久保田 晃志 (平成4年卒)

専門分野 関節外科
膝関節・股関節外科


資格・学会等 日本整形外科学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



高井 聖子 (平成17年卒)

専門分野 整形外科
リハビリテーション

資格・学会等 日本整形外科学会[専門医]
日本リハビリテーション医学会[専門医]
日本骨粗鬆症学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



高井 浩和 (平成19年卒)

専門分野 人工関節(膝関節・股関節)
下肢外傷(骨折など)

資格・学会等 日本整形外科学会
[専門医/認定スポーツ医/認定リウマチ医]
日本骨粗鬆症学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本人工関節学会[認定医]



宮地 有理 (平成11年卒)

専門分野 整形外科

資格・学会等 日本整形外科学会[専門医]
日本形成外科学会[専門医]
麻酔科標榜医



瀨 紳悟 (平成24年卒)

専門分野 整形外科

資格・学会等 日本整形外科学会
[専門医]



野々上 湧人 (平成29年卒)

専門分野 一般外傷

整形外科 非常勤医師(※五十音順)

<p>酒井 和裕</p> <p>所属 健和会大手町病院</p>	<p>藤本 徹</p> <p>所属 熊本大学病院</p>	<p>宮本 健史</p> <p>所属 熊本大学病院</p>
---	--	---

機能だけでなく、見た目もより良い状態に

小児形成外科では口唇口蓋裂や多指症等の先天性疾患に対して、地域の産婦人科、小児科、皮膚科、整形外科等との診療連携を大切にし、早期からの適切な治療を心がけています。

小児領域の治療を行う一方で、加齢に伴う眼瞼下垂症の手術症例は、形成外科での治療によって、外見の改善だけでなく、術後に「視野が広がった」「肩こりが消失した」などの声が聴かれています。



手術実績


1日平均 / 外来患者数 **34人**
(うち初診 4人)

1日平均 / 入院患者数 **11人**

手術件数 **643件**

手術名	R2	R3
皮膚皮下腫瘍摘出術	346	349
口唇口蓋裂形成術	109	119
多指(趾)症、合指(趾)症手術	31	40
眼瞼下垂症手術	9	15
癒痕(拘縮)形成術	17	10
顔面骨折手術	12	12
副耳(介)切除術	24	14
先天性耳瘻管摘出術	14	17
褥瘡、難治性皮膚潰瘍の手術	10	8
耳介形成術	7	8
腋臭症手術(皮弁法)	12	10
その他	34	41
合計	625	643

医師




副院長・国際唇裂口蓋裂センター長
中国広西医科大学 客員教授

小園 喜久夫 (昭和51年卒)

専門分野 形成外科
小児形成外科
美容外科

資格・学会等 日本形成外科[専門医/小児形成外科分野指導医/皮膚腫瘍外科指導医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本口蓋裂学会[認定師]



田邊 毅 (平成10年卒)

専門分野 先天異常・マイクロサージャリー
口唇口蓋裂

資格・学会等 日本形成外科
[評議員/専門医/小児形成外科分野指導医/
皮膚腫瘍外科指導専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



中西 いずみ (平成21年卒)

専門分野 形成外科一般
手指の先天異常
足潰瘍の治療
爪疾患



瀨田 翔吾 (令和2年卒)

専門分野 形成外科一般

皮膚科

皮膚病理診断を治療に活かす

当院の顧問も務める皮膚科の小野医師は、日本皮膚病理組織学会の理事長、日本皮膚科学会の理事などを務めた経験もあり、治療方針や効果を確認するための皮膚病理診断を実際の治療に活かした診療を行います。



●担当医師より

皮膚科の診療には殊の外、患者さんの日常生活の中に原因があることが少なくありません。

外来では、患者さんとお話をさせていただき、患者さんと一緒に皮膚病の原因探しをしていきたいと考えております。

医師



熊本機能病院 顧問
熊本大学 顧問・名誉教授
熊本保健科学大学 名誉教授
小野 友道 (昭和41年卒)

専門分野 皮膚科

資格・学会等 日本皮膚科学会[名誉会員/専門医]



米満 文 (平成18年卒)

専門分野 皮膚科一般 美容皮膚科

資格・学会等 日本皮膚科学会[会員]
日本美容皮膚科学会[会員]

美容部門

診療時間 火曜・水曜・木曜 15:00~17:00(最終受付16:00) 完全予約制 担当医:米満 文

脱毛には



メディオスター
NeXT PRO
(ダイオード
レーザー脱毛機)

シミ・そばかすくすみには



ライムライト
(IPL光治療)

しわ・たるみには



ウルトラセルQ+
(HIFU/
高密度焦点式超短波)

肝斑・にきび
などには
イオン導入



スーパービタミン(イオン導入)

にきび痕、毛穴、小じわ、たるみ等には



ダーマペン4(マイクロニードリング)

にきび、にきび痕、毛穴の開きには

ケミカルピーリング

肝斑、色素沈着の改善には



リバースピール

PRX-T33
(コラーゲンピール)

ハリを失った肌の改善(若返り)には



急性期から在宅復帰まで一貫したサポート

脳神経内科では、たとえば、身体にしびれを感じたり、めまいがしたり、うまく力がはまらない、歩きにくいなどの症状に対し、障害が起きている部位や原因を特定し、治療を行います。

当院では脳神経内科と共にリハビリテーション科として、リハビリテーション専門医がリハビリストアッフ等と連携し、患者さんが当院にいらっしやってからご自宅に帰られるまで、患者さんの状態に合わせたより適切なリハビリテーションの提供を行っています。



1日平均 / 外来患者数 **51人**

1日平均 / 入院患者数 **98人**

医師

リハビリテーション科・脳神経内科



中西 亮二 (昭和54年卒)

専門分野 リハビリテーション医学

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[指導医/専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



臨床研究センター センター長
木原 薫 (昭和55年卒)

専門分野 脳卒中
リハビリテーション

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



副院長
総合リハビリテーションセンター センター長
熊本大学医学部医学科 臨床教授(脳神経内科)
渡邊 進 (昭和57年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医/評議員]
日本内科学会[認定医]
日本転倒予防医学会[理事]
指定難病医療費助成制度[指定医]
一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会 理事




副院長
総合リハビリテーションセンター 副センター長
徳永 誠 (昭和63年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科

資格・学会等

日本リハビリテーション医学会
[代議員/指導医/専門医/九州地方会幹事]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[認定医]
指定難病医療費助成制度[指定医]


医師



桂 賢一 (平成10年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経内科
脳卒中

資格・学会等
日本内科学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会
[指導医/専門医/認定臨床医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本脳卒中学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



時里 香 (平成11年卒)

専門分野 脳神経内科
リハビリテーション

資格・学会等
日本内科学会[認定医]
日本リハビリテーション医学会
[専門医/認定臨床医/指導医]
日本神経学会[専門医]
日本摂食嚥下リハビリテーション学会[認定士]
日本医師会[認定産業医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



坂元 顕久 (平成13年卒)

専門分野 リハビリテーション
脳神経外科

資格・学会等
日本脳神経外科学会[専門医]



宮本 詩子 (平成15年卒)

専門分野 脳神経内科
臨床神経生理学

資格・学会等
日本内科学会[認定医]
日本神経学会[指導医/専門医]
日本臨床神経生理学会[指導医/専門医]
日本リハビリテーション医学会[認定医/専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]



中西 俊人 (平成21年卒)

専門分野 脳神経内科一般

資格・学会等
日本神経学会[指導医/専門医]
日本内科学会[総合内科専門医]
日本リハビリテーション医学会[専門医]

脳神経内科 非常勤医師

松永 薫 **所属** くまもと温石病院

医師

内科




小川 尚 (昭和39年卒)

専門分野 味覚
脳活動の非侵襲性計測
味覚の客観的検査法の開発

内科 非常勤医師(※五十音順)

竹迫 雅弘 **所属** 山鹿中央病院

中西 美智子 **所属** 水前寺とうや病院
9月1日にご逝去されました。平成9年1月から25年半に亘り、非常勤医師としてご尽力いただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。



平 敏裕 (平成3年卒)

専門分野 内科
内部障害のリハビリテーション

資格・学会等
日本内科学会[認定内科医]
日本リハビリテーション医学会[指導医/専門医]
義肢装具等適合判定医
日本糖尿病協会[登録医]

産業医



二塚 信 (昭和39年卒)

専門分野 公衆衛生学

資格・学会等
日本産業衛生学会[名誉会員/指導医]


「飲み込む」「話す」「聞く」を専門的にサポート

耳鼻咽喉科

脳血管疾患や神経疾患などに伴う嚥下障害に対してリハビリテーション部門と共同で診療にあたっています。患者さんの状態や希望に応じて、嚥下機能改善手術、誤嚥防止術の対応も可能です。また、難聴の患者さんへの補聴器外来も検査やフィッティングができる体制を整えています。



医師



鮫島 靖浩 (昭和56年卒)

専門分野 耳鼻咽喉科

資格・学会等
日本耳鼻咽喉科学会
[専門医/補聴器専門医]
日本嚥下医学会[認定嚥下相談医]
日本気管食道科学会[専門医]

消化器外科

消化器症状はお気軽にご相談ください

胸やけや胃もたれ、下痢や便秘などの胃腸症状のある方、健診後の肝機能障害を指摘された方などの診断と保存的加療を行っています。消化器に関しては、上部内視鏡検査や腹部エコー、腹部CT、MRCPなどの精密検査が可能です。また、専門病院への紹介やセカンドオピニオンなどにも対応しています。



医師



内野 良仁 (昭和54年卒)

専門分野 消化器外科

資格・学会等

日本外科学会[専門医/指導医]
日本消化器外科学会[専門医/指導医]
地域包括医療ケア[認定医]
日本医師会[認定産業医]

小児科

発達小児外来、小児リハビリテーションを行います

当院の小児科では、主に15歳未満で言葉などの発達の遅れがみられるお子さんを中心に診療しております。発音がはっきりしない(構音障害)、どもる・流ちょうに話すことができない(吃音症)、読み書きが苦手(読み書き障害)など言葉に苦手さを持つお子さんに対し言語聴覚士と協力してリハビリテーションを行っております。



医師



倉本 浩史 (平成13年卒)

専門分野 小児神経科

資格・学会等

日本小児科医会[子どもの心 相談医]

血管外科

血管疾患をトータルに管理し、健康をサポート

主に末梢血管疾患(下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症などの末梢動脈疾患)、静脈血栓塞栓症などを中心に、循環器内科、形成外科とも連携し、診断、治療を行います。また、心臓外科の経緯を生かし、心臓大血管手術の周術期管理も行います。



スーパーバイザー
中島 昌道

手術実績

手術名	R2	R3
下肢静脈瘤手術	46	63
血管内焼灼術	38	58
抜去切除術	8	5
末梢血管吻合術	6	1
その他	2	0
合計	54	64

1日平均 / 外来患者数 **8人**

手術件数 **64件**

医師



萩原 正一郎 (平成2年卒)

専門分野 心臓血管外科全般
(特に末梢血管外科)

資格・学会等

日本外科学会[専門医/認定医]
日本脈管学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会[下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医]

血管外科 非常勤医師

スーパーバイザー

中島 昌道

所属 熊本赤十字病院

地域に喜ばれる循環器内科を目指して

当循環器内科は、循環器疾患全般はもとより、その中でも心不全、冠攣縮性狭心症の診断、治療、心臓リハビリテーションを含めた管理を得意分野としております。また、その上流にある原因の糖尿病、高血圧も当科の守備範囲として対応。“患者さんに学ぶ”から始まる実臨床での研究を通し医療レベルをアップデートしながら、高度急性期病院と地域クリニックの中間的な立ち位置という利点を活かし、医療連携のつなぎ役として地域の皆様に喜ばれる医療を提供してまいります。



1日平均 / 外来患者数
37人

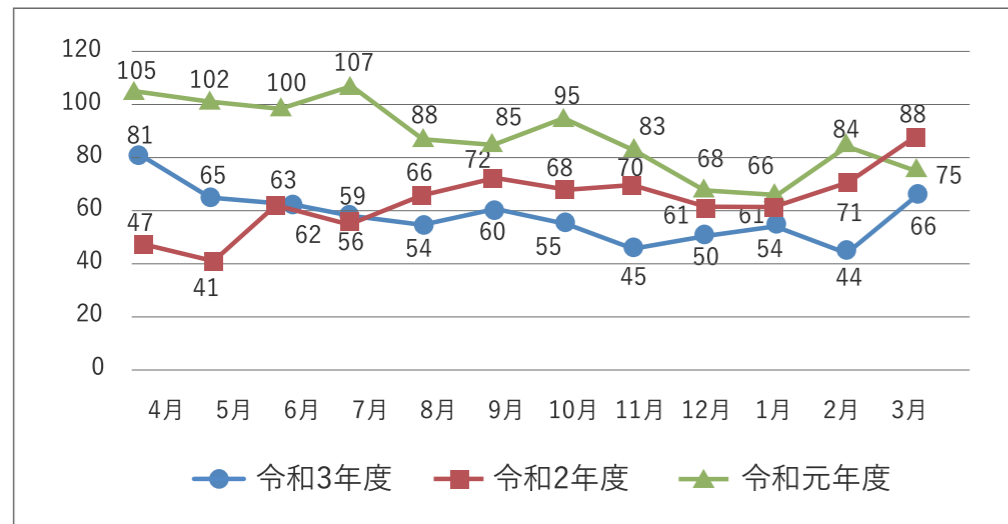
1日平均 / 入院患者数
11人

ペースメーカー手術件数
9件

その他 治療・検査実績	R1	R2	R3
心臓カテーテル検査	107	101	99
経皮的冠動脈ステント留置術	17	8	5

外来心臓リハビリテーション実績 (H3年4月～R4年3月)	延人数696名 (2,085単位)
----------------------------------	----------------------

月別 延患者数



医師



熊本加齢医学研究所 所長
泰江 弘文 (昭和34年卒)

専門分野 循環器疾患・高血圧・糖尿病
内分泌疾患・肥満・生活習慣病

資格・学会等

日本内科学会[名誉会員]
日本循環器学会[特別会員]
日本心血管内分泌代謝学会[名誉会員]



熊本健康・体づくりセンター 所長
治験管理室 室長
原田 栄作 (平成4年卒)

専門分野 循環器科

資格・学会等

熊本県ラグビーフットボール協会医務委員
日本内科学会[認定医]
日本循環器学会[専門医]
日本スポーツ協会[公認スポーツドクター]
日本医師会[認定健康スポーツ医]
熊本県体育協会[スポーツ医科学専門委員]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本心臓リハビリテーション学会[指導士]



釘宮 史仁 (平成13年卒)

専門分野 循環器全般
(心臓カテーテル治療・
心臓リハビリ等)

資格・学会等

日本内科学会[総合内科専門医]
日本循環器学会[専門医]
日本心血管インターベンション治療学会[認定医]
日本心臓リハビリテーション学会[指導士]
日本不整脈心電学会 心電図検定1級



山田 敏寛 (平成26年卒)

専門分野 循環器一般

資格・学会等

日本内科学会[認定医]
日本循環器学会[専門医]
日本心血管インターベンション治療学会[認定医]

循環器内科 非常勤医師(※五十音順)

永野 美和 **所属** 熊本大学病院

山本 正啓 **所属** 熊本大学病院

患者さんの生活に考慮した治療を

リウマチ科では、薬物療法により関節の痛みや腫れを抑える治療をはじめ、整形外科との連携により身体の機能回復に向けて、リハビリテーションを取り入れるなどして、患者さんのQOL(生活の質)を維持できるように努めております。



医師



工藤 博徳 (平成4年卒)

専門分野 リウマチ学・膠原病学・免疫学

資格・学会等

指定難病医療費助成制度[指定医]

患者さんの多様なニーズに応えられるように

脳神経外科では、脳をはじめ脊髄から末梢神経までの神経の病気や脳卒中などに伴う脳血管障害、及び外傷などの治療を取り扱います。

脳神経内科やリハビリなどの他部門との連携を行い、多様なニーズに応えられるよう診療を行っており、脳卒中や脳の病気の早期発見・予防、及び認知症の早期発見などのため、脳ドックを行っています。



手術実績

手術名	R2	R3
脳刺激装置交換術	60	63
穿頭血腫除去	10	10
水頭症手術 (VA・VPシャント術)	4	11
その他	6	6
合計	80	90

医師



江口 義八郎 (昭和57年卒)

専門分野 脳神経外科専門
頭痛専門

資格・学会等

日本脳神経外科学会[専門医]
指定難病医療費助成制度[指定医]
日本頭痛学会[専門医]

24時間、やさしい救急医療を目指しています

救急科では、救急センターを中心として24時間体制で、診療を行っております。

当院の救急センターは救急専門医と各診療科の医師が連携し、患者さんにとってやさしく、専門性の高い救急医療の提供を目指しています。



1日平均 救急患者数
23人

1日平均 入院患者数
34人

年間救急車数
R1 1,192台
R2 1,005台
R3 972台

救急外来受診疾患の内訳

外科系疾患	割合	内科系疾患	割合
手指切創・挫創、手指切断、手指骨折・捻挫	20.9%	発熱・COVID-19(疑い)	70.2%
頭部挫創・打撲、顔面挫創・打撲、鼻骨骨折	10.2%	急性上気道炎・感冒・急性咽頭炎・咽頭痛	6.6%
足関節捻挫・趾骨・中足骨打撲、骨折	7.9%	心不全・不整脈・心筋梗塞・高血圧	2.3%
膝部挫創・打撲、下腿打撲・挫創、膝関節捻挫	6.9%	めまい・意識障害	1.8%
頸椎捻挫、外傷性頸部症候群、頸部痛、頸椎症	5.5%	感染性胃腸炎・急性胃腸炎・腹痛	1.7%
大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折、大腿骨骨幹部骨折	5.2%	倦怠感	1.4%
腰痛症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板症、腰椎椎間板ヘルニア	4.9%	頭痛	1.3%
橈骨・尺骨遠位端骨折、脱臼	4.4%	胸痛・動悸	0.8%
肘内障、肘関節靭帯損傷・骨折・脱臼・打撲・挫創	4.2%	脳卒中(疑い)・硬膜下血腫	0.8%
腰椎圧迫骨折、腰部打撲傷	3.8%	じんま疹	0.7%
鎖骨骨折、上腕骨骨折、橈骨骨折	3.1%	熱中症・脱水	0.6%
肩関節断裂、肩打撲、肩関節脱臼	2.6%	誤嚥性肺炎・急性肺炎	0.6%
その他	20.4%	その他	11.1%
合計	100.0%	合計	100.0%

医師



理事長・救急センター長
米満 弘一郎 (平成12年卒)

専門分野 救急医療・外傷救急
集中治療・総合診療

資格・学会等

日本救急医学会[専門医]
日本集中治療医学会[専門医]
日本リハビリテーション医学会[会員]
日本外科学会[会員]
日本臨床内科医学会[会員]



宮崎 博喜 (平成10年卒)

専門分野 総合診療科・心身医学
一般内科

資格・学会等

日本内科学会[総合内科専門医]
日本医師会[産業医]
日本心身医学会[会員]
日本線維筋痛症学会[会員]

救急科 非常勤医師

井 清司

外科 非常勤医師

門岡 康弘

所属 熊本大学病院

何科を受診したら良いかわからない方、 ストレスでお困りの方、受診ください。

当院の総合診療科は、「何科を受診したら良いかわからない」方々の原因を明らかにすることを第一の使命としております。

また、心理・社会的なストレスによって身体の症状が起こってしまう「心身症」に対する専門的な治療も提供しています。

特に「新型コロナ後遺症」「線維筋痛症」「自律神経失調症」への治療を積極的に行っています。



公認心理師、社会福祉士と連携して治療にあたります。

医師



宮崎 博喜 (平成10年卒)

専門分野 総合診療科・心身医学
一般内科

資格・学会等

日本内科学会[総合内科専門医]
日本医師会[産業医]
日本心身医学会[会員]
日本線維筋痛症学会[会員]

迅速で正確な画像診断によって診療を支える

当院の放射線科ではCT、MRI、骨密度装置などを駆使し、迅速で正確な画像診断を行うために常に努力を続けています。

また、院内における検査に限らず、「地域医療連携画像診断センター」として、近隣医療機関からの検査依頼も受け付けており、幅広い疾患の検査を数多く行っています。



	CT撮影件数	MRI撮影件数
全件数	6,176件	4,637件
うち外部からの依頼件数	115件	168件

当院では画像診断管理加算2も算定しています。専門医にて全件数を読影し、翌診療日までに主治医に報告する体制を整えています。

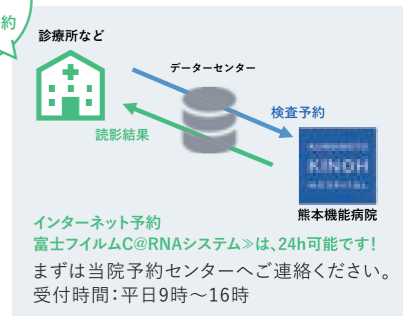
地域医療連携画像診断センター 画像診断サービスを提供しています

CT(造影、心臓血管3Dも可)
MRI(造影、MRCPも可)
骨密度測定装置をご利用いただけます。



- 専門医による読影結果を翌診療日までにオンラインで確認できます。
- 電話にて専門医と相談も可能です。(平日9時～16時まで)
- 検査結果について
 - 検査後の画像はCD-ROMで患者さんへ当日お渡し
 - 読影結果を翌診療日までにオンラインで報告

インターネット
or
お電話で予約



医師



中山 善晴 (平成7年卒)

専門分野 腹部・骨軟部画像診断学

資格・学会等

日本医学放射線学会[専門医/診断専門医]
日本放射線科専門医会[会員]
日本遠隔医療学会[会員]
オートプシー・イメージング学会[会員]



石塚 恵未 (平成15年卒)

専門分野 画像診断

資格・学会等

日本医学放射線学会
[専門医/診断専門医]

周術期患者安全の一翼を担う

2021年度はCOVID-19感染の波状拡大が繰り返される中、2020年度に比し総手術件数、麻酔科管理件数ともに微増に留まりました。この間、麻酔科医への同ウィルス感染を免れ、患者安全志向の麻酔管理体制に大きな変化はありませんでした。次年度も順調な手術室・麻酔科運営の現状に気を緩めることなく、回復基調の手術件数・麻酔管理件数に即応できるwith COVID-19での安全な麻酔管理体制の維持に努めて参ります。



実績

	R2	R3
麻酔管理件数	2,047	2,148
うち全身麻酔件数 (全身麻酔率)	2,044 99.9%	2,143 99.8%

偶発症合併症名	発生率(%)
不整脈	17.7
低血圧(収縮期圧 70mmHg以下)	17.3
吐き気・嘔吐	9.8
息こらえ(人工呼吸中の一時的な呼吸の異常)	6.2
のどの痛みや違和感	5.7
高度徐脈(脈拍数 40拍/分以下)	3.3
高血圧(収縮期圧 200mmHg以上)	3.0

医師



副院長
矢野 敏之 (昭和58年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等

日本麻酔科学会[認定指導医/認定医]
日本専門医機構[麻酔科専門医]



中山 良輔 (昭和62年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等

日本麻酔科学会[麻酔科指導医]
日本輸血細胞治療学会[会員]
日本専門医機構[麻酔科専門医]



今泉 隆志 (平成5年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等

日本麻酔科学会[麻酔科指導医]
日本専門医機構[麻酔科専門医]
ICD制度協議会
[インфекションコントロールドクター]



采田 千穂 (平成9年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等

日本麻酔科学会[指導医]
日本臨床麻酔学会



川本 和彦 (平成10年卒)

専門分野 麻酔科

資格・学会等

日本麻酔科学会[麻酔科指導医]
日本専門医機構[麻酔科専門医]

薬剤部

医薬品の安全使用、 適正使用に努めます

『薬のスペシャリストとして、患者さんの薬物療法に責任をもつ』『薬のセーフティーマネージャーとして、薬の不利益から患者さん・医療スタッフを守る』をミッションに、医薬品の安全使用、適正使用の推進に努めています。研究活動も積極的に行っており、その結果を発信、フィードバックすることにより薬物療法の向上に努めています。本年も熊本県病院薬剤師会優秀論文賞を受賞しました。現在は、さらにポリファーマシー、院内フォーミュラリーの取り組みにも力をいれています。



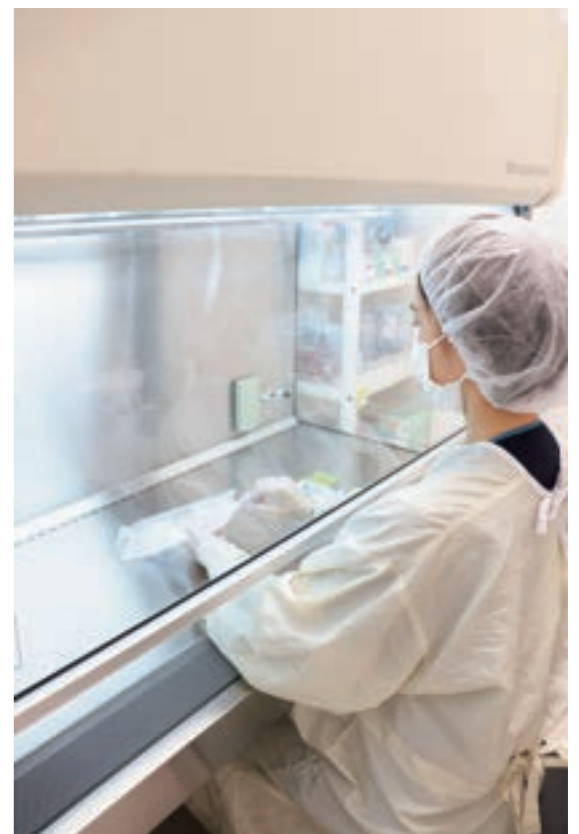
	R1	R2	R3
入院中の薬剤師による 服薬支援件数 (薬剤管理指導)	13,164件	11,939件	12,244件

全病棟に担当薬剤師を1人配置し、患者さんに対して薬の説明・管理を行っています。



資格(R4年4月現在)	人数
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師・ 生涯研修履修認定薬剤師	11
日病薬病薬学認定薬剤師	3
JPALS認定薬剤師	1
日本薬剤師研修センター認定薬剤師	1
認定実務実習指導薬剤師	2
医療薬学会認定薬剤師	2
抗菌化学療法認定薬剤師	1
感染制御認定薬剤師	1
周術期管理チーム薬剤師	1
骨粗鬆症マネージャー	1
スポーツファーマシスト	1
ACLS、PALSプロバイダー	1
栄養サポートチーム専門療法士	1
心不全療養指導士	1
パーキンソン病療養指導士	1
心電図検定 2級	1

チーム医療に貢献できるよう、専門分野の知識・技能を有する認定・専門薬剤師の育成にも積極的に取り組んでいます。骨粗鬆症、心不全、パーキンソン病、糖尿病など、患者さんへの教育にも力をいれており、退院後の生活に重点をおいた支援を行っています。



医学検査部

臨床検査課

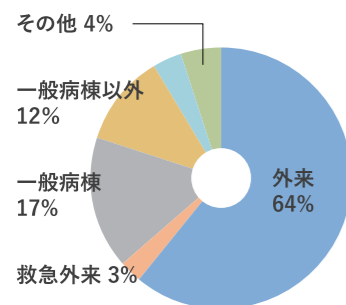
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 「精度保証施設認証」取得中

「精度保証施設認証」とは、当院が提供する臨床検査のデータが「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」とであると認証されたものです。

看護師とともに臨床検査技師が採血を行い、迅速に正確な検査を提供します。



[検査オーダー部門]



神経生理センター・神経生理検査課

地域に開かれた共同利用型の 神経生理検査室

当院の神経生理センターは、神経伝導検査、筋電図、体性感覚誘発電位、運動誘発電位、脳波検査などの検査を日本臨床神経生理学会専門技術師と専門医が行っている、熊本県内でも数少ない共同利用型の神経生理検査室です。また、学生実習のみならず、他の施設からの研修も受け入れています。

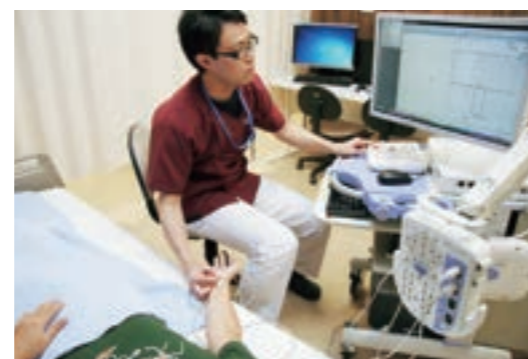


検査実績

	R2	R3
総検査件数	3,221件	3122件
紹介施設数	133施設	134施設
紹介患者数	546人	505人
紹介率	34.77%	31.27%

所属技術師4名のうち

日本臨床神経生理学会専門技術師:4名



心臓生理検査課

急性期からリハビリまでトータルでサポート

心臓生理検査課では、主に循環器、血管関連の生理検査を担当しています。心臓・血管超音波をはじめ、心肺運動負荷試験、血管年齢、睡眠時無呼吸などの検査結果から得られる情報を提供することで疾患の診断を補助しています。当院には、日本超音波医学会の認定超音波検査士(循環器)が在籍しており、精度の高い検査結果の提供に努めています。



検査実績

主な検査	R2	R3
心エコー	4,141件	4,053件
トレッドミル	30件	30件
血管超音波	1,008件	1,401件
心臓カテーテル(検査・治療)	101件	99件
ABI	510件	716件
CPX	72件	50件
ホルター心電図	252件	202件
安静心電図	7,079件	7,371件
肺機能	1,973件	2,076件
睡眠時無呼吸(簡易型・精査型)	41件	40件
血管年齢(中心血圧測定:AI)※平成29年4月より実施	114件	182件

看護部

看護部基本方針

尊重

支援

協働

2021年度の主な取り組み

- 新型コロナウイルス感染症へ様々な場面で活動しました



発熱外来

働きやすい、働き続けられる環境づくり

- 事業所内保育所「なないろ森の保育園」を併設しており、働きやすい環境を整備しています。
- 育児短時間勤務制度など、多様な働き方を導入しています。



入社式



入院患者さんの対応



ワクチン接種

認定看護師等の資格取得状況

資格(令和4年4月現在)	人数
認定看護管理者	1名
認知症看護認定看護師	1名
感染管理認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	2名
日本禁煙学会 専門指導看護師	1名
回復期リハビリテーション看護師	8名
自己血輸血認定看護師	1名
糖尿病療養指導士	2名
骨粗鬆症マネージャー	3名

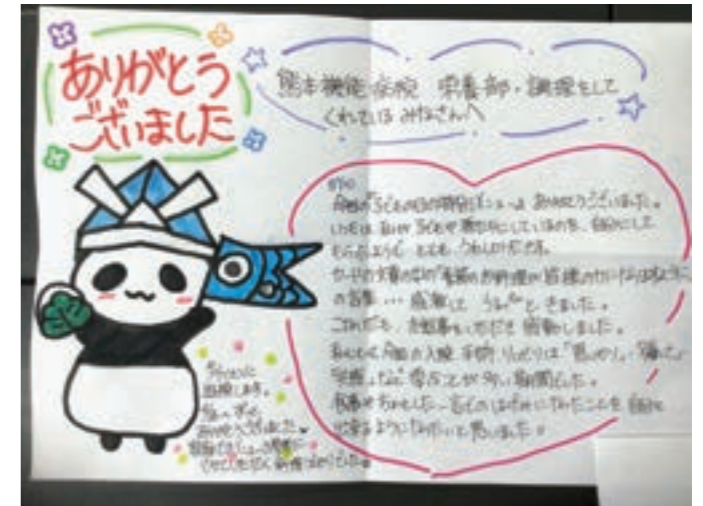
栄養部

「楽しい食事」と「適切な栄養管理」で入院生活をサポート

栄養部門では、安心安全な美味しい食事の提供と、適切な栄養管理をもって患者さん中心の医療に貢献することをミッションとして日々の業務に取り組んでいます。

2021年度はInstagram(kinoh_eiyou)を開設しました。

“美味しい・ヘルシー・あったかい”お食事についての情報を院内外に発信しています。



栄養指導の実績

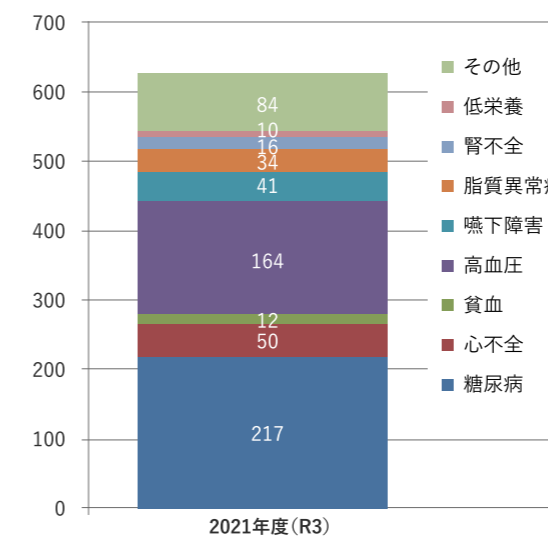
	2021年度(R3)
栄養指導(加算)件数	629(512)件

資格

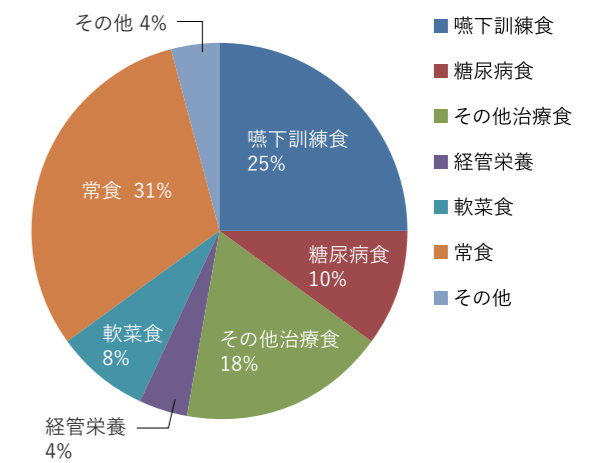
資格(2022年4月現在)	人数
NST専門療法士	2
病態栄養認定管理栄養士	2
糖尿病療養指導士	5
骨粗鬆症マネージャー	1
健康運動指導士	1



栄養指導内訳



提供食内訳



総合リハビリテーション部

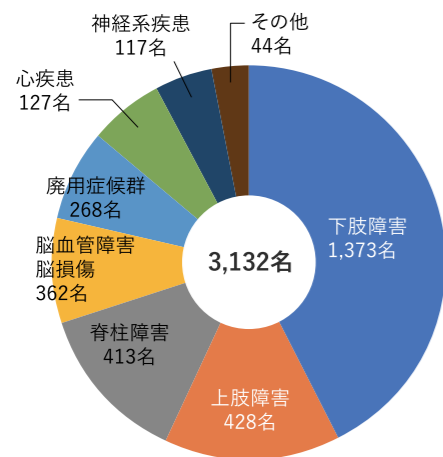
最高のリハビリテーションサービスを目指します。

1981年の開院時からリハビリテーション専門病院として、急性期から生活期までの各ステージで質の高いリハビリテーションサービスを提供するため努力しています。

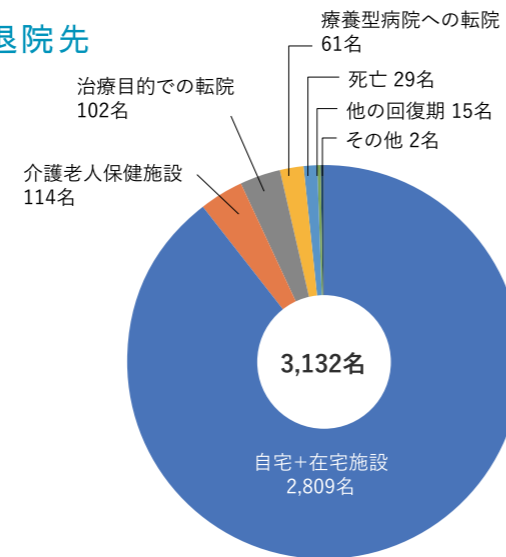
常に新しい知識や技術を取り入れ、培ってきた多職種でのチームアプローチを推進することで最高のリハビリテーションサービスを目指します。

理学療法課・作業療法課・言語聴覚療法課

入院リハビリテーション対象疾患内訳 (2021年度)



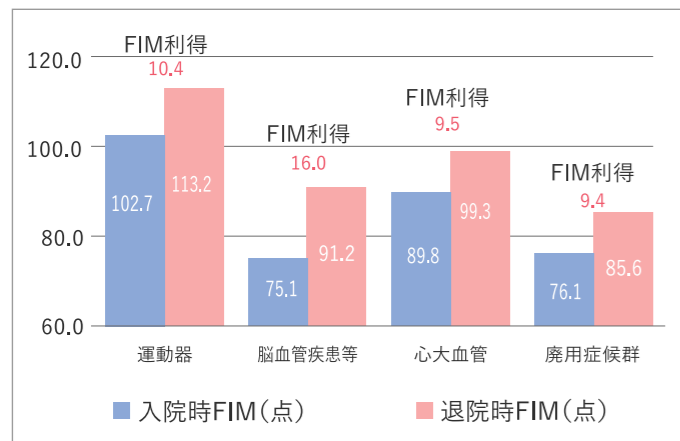
退院先



疾患別 患者内訳

疾患	患者数	平均年齢	平均在院日数	在宅復帰率
運動器リハビリテーション	2261人	66.4歳	33.9日	94.0%
脳血管疾患等リハビリテーション	462人	71.1歳	59.6日	79.0%
心大血管リハビリテーション	129人	80.1歳	29.6日	81.0%
廃用症候群リハビリテーション	280人	73.9歳	34.0日	77.0%

疾患別リハビリテーション FIM利得



外来リハビリテーション対象疾患内訳(2021年度)

疾患群名	人数
手外科疾患	608人(34.5%)
膝・足関節・足部疾患(障害)	545人(31.0%)
肩・肘疾患(障害)	225人(12.8%)
言語発達遅延・構音障害	101人(5.7%)
脊椎疾患(障害)	85人(4.8%)
骨盤・股関節疾患(障害)	52人(3.0%)
口唇口蓋裂	44人(2.5%)
脳血管疾患・脳損傷	44人(2.5%)
心臓疾患	19人(1.1%)
神経障害	16人(0.9%)
その他	21人(1.2%)
総計	1760(100%)

NARC(ナーク: Neuro-activation Rehabilitation Center)

～ 科学に基づくリハビリテーションを実践しています ～

Neuro-activation Rehabilitation Center(NARC:ナーク)は私たちが信条とする「科学に基づくリハ」を実践するための部門です。「神経活性化」の考えを軸として、先進機器や新しい概念を当院リハに取り入れるための情報収集、導入後の振り返り評価や学会等を通じた報告などの活動を実践しています。

当院のリハ関連先端機器としては、ウェルウォーク(歩行支援ロボット)、IVES(随意運動介助型電気刺激装置)、Hondaセーフティーナビ(ドライビングシミュレータ)、ウォークエイド(歩行神経筋電気刺激装置)、バイタルスティム・ジェントルスティム(嚥下専用電気治療器)、トランクソリューション(姿勢矯正機器)、アンウェイシステム ネクステップ(可動式体重免荷装置)等を導入しています。

総合リハビリテーションセンター長 渡邊 進



口腔リハ課

	口腔ケア依頼件数(延人数)
熊本機能病院	672件(4,800件)

関連施設への口腔ケア介入実施件数

	介入延人数(月人数)
清雅苑	1,323人(55.1人/月)
天寿園	420人(35人/月)



R3 実習生受入状況

実習・研修受入	人数
歯科衛生士	10人

資格

資格	人数
摂食嚥下認定歯科衛生士	1名
在宅療養認定歯科衛生士	1名

訪問歯科連携センター

熊本医科歯科病診連携事業として地域の歯科医院と連携

認定看護師種別	R2	R3
訪問歯科延人数	910名	1,027名
登録歯科医院	102件	101件
実稼働歯科医院	45件	44件

医療安全管理部門

医療の安全を守る専門スタッフ

当院は、医療安全管理部門として、医療安全管理室、院内感染管理室、医療機器安全管理室という3つの部署を設置しており、それぞれの専門スタッフが医療の安全を守る取り組みを行っています。



医療安全管理室



院内感染管理室



医療機器安全管理室

医療安全管理室

患者安全を最優先に、安心して安全な医療が受けられる環境を整え、良質な医療が提供できるよう医療安全の質向上に努めています。

- インシデント事例の収集・保管、分析結果のフィード
- 改善案の提案、支援
- 職員教育

◎ 全体研修：2回/年、新入職員研修、急変時対応研修

- 医療安全推進のための活動

- ◎ 医療安全推進週間(5月、11月)
- ◎ 医療安全推進部会による院内ラウンド(1回/月)
- ◎ 転倒予防WG・リンクスタッフによる事故の検証、環境ラウンド
- ◎ 医療安全情報・ニュース配信

- 医療安全対策地域連携相互評価(年1回)

◎ 連携施設：済生会熊本病院、熊本赤十字病院、寺尾病院



転倒予防WG環境ラウンド



地域連携相互評価

院内感染管理室

- ICTラウンド
(耐性菌検出者・抗菌薬使用者・発熱嘔吐下痢者)の実施とフィードバック1回/週
- 院内の耐性菌検出状況の分析・フィードバック1回/月
- 医療関連サーベイランス(耐性菌・発熱・嘔吐下痢・SSI)実施
- アルコール手指消毒薬使用量調査・フィードバック
- 教育
◎ 院内全体研修 2回/年
◎ 新型コロナウイルス感染症対策・個人防護具着脱 実地研修 79回

- 感染防止対策地域連携

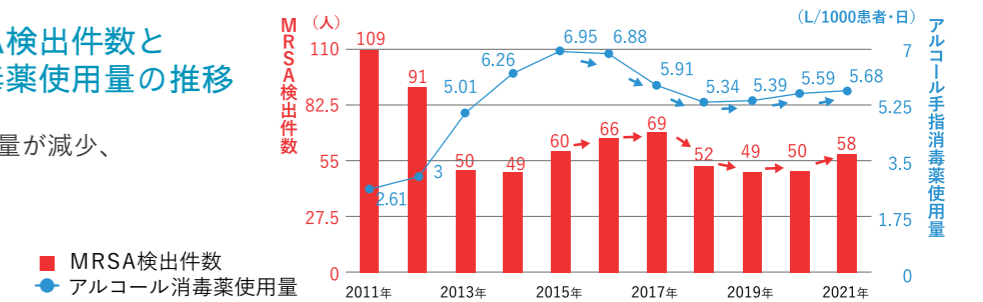
- ◎ 済生会熊本病院・熊本地域医療センターと感染防止対策地域連携のための相互チェックを実施
- ◎ 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院と4回/年以上のカンファレンスの開催
- ◎ 鶴田病院・菊南病院・合志第一病院・寺尾病院からの相談対応

- 職業感染対策としてのワクチンプログラムの実施

- ◎ B型肝炎・小児ウイルス疾患ワクチン
- ◎ インフルエンザワクチン
- ◎ 新型コロナワクチン

過去10年間のMRSA検出件数とアルコール手指消毒薬使用量の推移

アルコール手指消毒薬使用量が減少、MRSA検出数は増加傾向



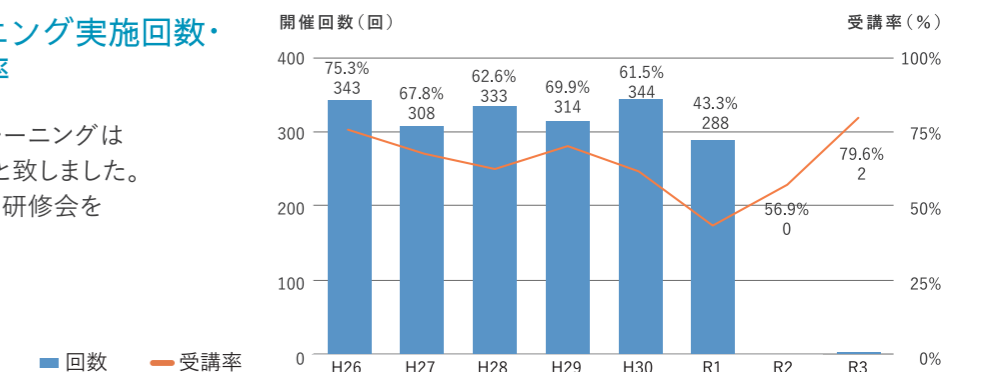
医療機器安全管理室

- 医療機器取扱いに関するe-ラーニング、ハンズオントレーニングの受講推進
- 特定管理医療機器の点検実施
- 医療機器適正使用に向けての情報動画提供
- メンテナンスサポート終了機器・消耗品供給停止機器の更新
- 医療機器の貸し出し稼働率の適正化(輸液ポンプ・人工呼吸器・血糖測定器の増設)



ハンズオントレーニング実施回数・e-ラーニング受講率

R2・3年度は、ハンズオントレーニングは開催せずe-ラーニング受講と致しました。希望者には、マンツーマンの研修会を開催致しました。



医療連携部

医療・介護・福祉の 連携強化をはかる

当院では、療養に伴う様々な不安や心配ごと等について、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が福祉の立場から、患者さんやご家族のご相談に応じて問題解決のお手伝いをします。



医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の病棟業務

入院初期から患者さんが自分らしい生活を続けていくための様々なサービスの利用や方法を一緒に考えさせていただきます。
患者さん・ご家族・病棟退院支援看護師・退院支援専従看護師ソーシャルワーカーにてカンファレンスを実施しています。

◆在宅サービスとの連携
患者さん・ご家族の抱えるニーズを把握し、問題の解決を図るため、様々な関係機関・関係施設と密な調整・連携を行っています。
担当者会議や在宅訪問等の在宅スタッフとの連携は回復期病棟・地域包括ケア病棟・障害者施設等一般病棟・一般病棟の順に実施件数が多く、在宅復帰に向けてより入念な連携を行っています。

【入院時支援加算】 2021年度／70件
【入退院支援加算1】 2021年度／805件

【介護支援連携指導料】 2021年度／49件
【退院時共同指導料2】 2021年度／0件

8:30	9:00	10:00	11:00	12:10	13:00	16:00	17:00
朝礼 部署内ミーティング	多職種カンファレンス	担当者会議	インテーク退院支援カンファレンス	昼食	在宅訪問	患者家族カンファレンス 同席	電子カルテ・MSW記録 終礼

退院後の生活について検討し、介護保険サービス等の利用調整を行います。ケアマネジャーを始めとする在宅スタッフが参加します。

入院して間もない患者さん、ご家族から入院前の生活状況や退院後の生活に関するご意向などのお話を伺い、様々な方法を一緒に考えさせていただきます。

患者さんが円滑に在宅生活を送ることができるよう、関係スタッフ（理学療法士・作業療法士・ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・福祉用具業者等）が自宅を訪問し、住環境の把握から自宅での動作指導・生活指導やご家族への介護指導および福祉用具の選定・住宅改修の提案を行います。

※上記スケジュールの合間に電話相談や患者さん・ご家族との面談も実施しています。

「清水校区・高平台校区在住の高齢者の相談窓口」

熊本市の委託で運営

職員体制：10名
（社会福祉士、生活支援コーディネーター、主任介護支援専門員、保健師、看護師）

ささえりあでは、高齢者の暮らしや介護に関する相談対応、権利や財産を守るための支援、介護予防に関する啓発活動、地域の関連団体と協働し高齢者を地域で支えあう仕組みづくりに取り組んでいます。

主な取組み

総合相談・支援業務	R3年度相談件数 延べ5,219件 17.6件／日
介護予防ケアマネジメント業務	R3年度ケアプラン作成数2,427件
一般介護予防事業	R3年度介護予防教室開催・運営支援 13件
権利擁護業務	権利擁護関連研修会3回開催、 認知症サポーター養成講座2回開催、 清水小学校キッズサポーター養成講座開催、 高齢者虐待対応11件
包括的・継続的ケアマネジメント支援	自立支援型地域ケア会議19事例検討、 課題解決型地域ケア会議11事例検討、 医療介護連携関連研修会7回開催
生活支援体制整備・地域支援活動	住民向け研修会8回開催
地域とのネットワーク作り	自治会、関連団体とのネットワーク会議43回
広報活動	ささえりあ清水・高平便り4回発行、 ささえりあ清水・高平公式ライン、 YouTubeによる情報発信

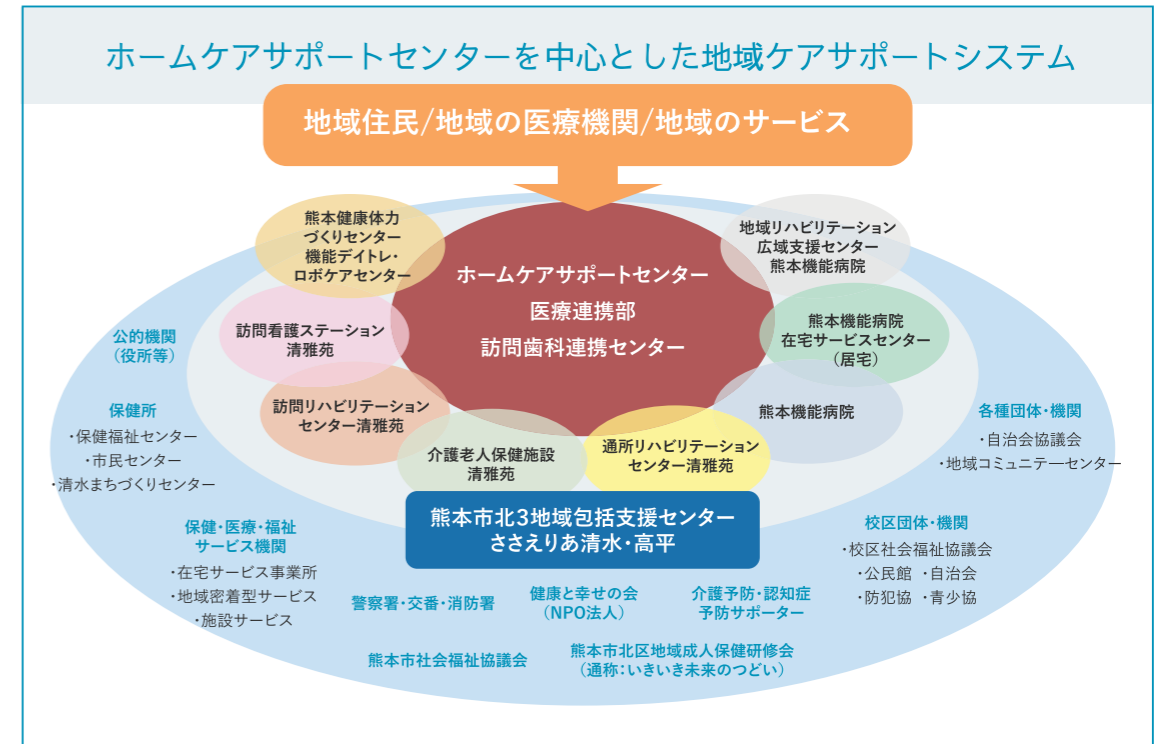


清水小学校キッズサポーター養成講座の様子

さまざまな施設と連携し、地域ケアを実現する

清雅苑は、1988年10月に熊本県第1号の老健施設として開設しました。

要介護状態にある方に専門性の高いリハビリテーション・ケアを提供し、在宅復帰を積極的に進めるとともに、在宅復帰後の生活をホームケアサポートセンター（在宅サービスの総合相談窓口）と連携して実施しています。

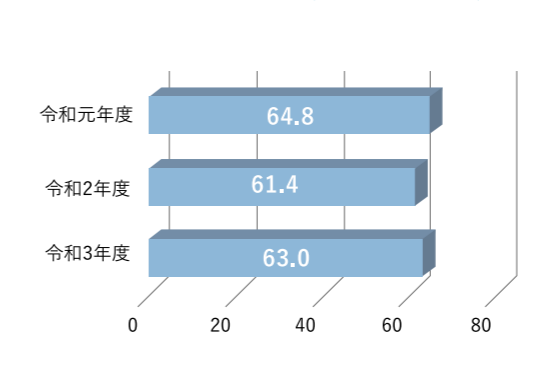


ホームケアサポートセンター

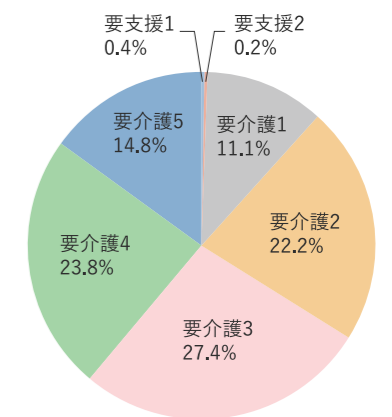
介護老人保健施設 清雅苑（在宅超強化型老健）

高い在宅復帰率を誇り、全国で15%未満しかない在宅超強化型老人保健施設を維持しています。
多職種協働により常に在宅生活を意識した、リハビリテーション・ケアをご利用者の状態像に合わせ提供しています。

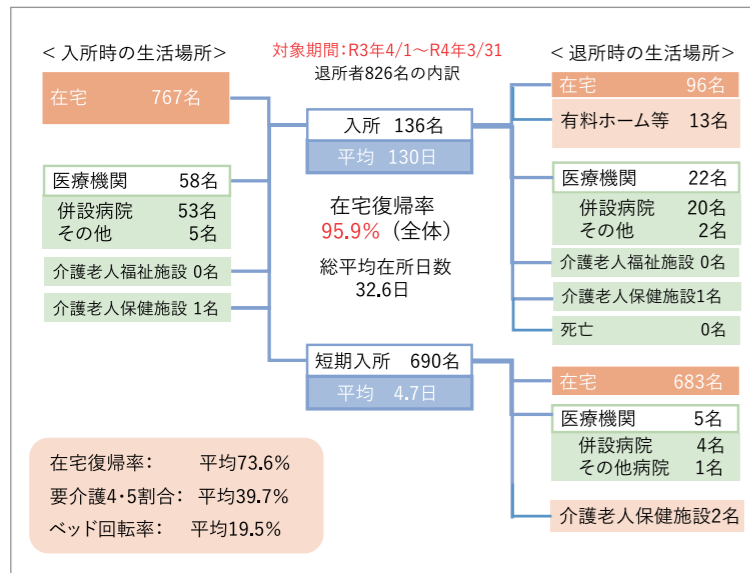
1日当たり平均入所者数（短期入所含む）



[要介護度分布]



清雅苑入所者の流れ

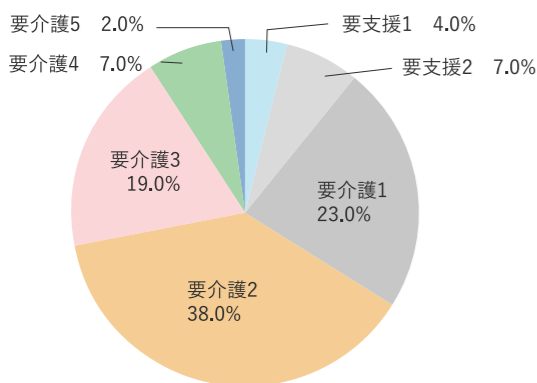


通所リハビリテーション

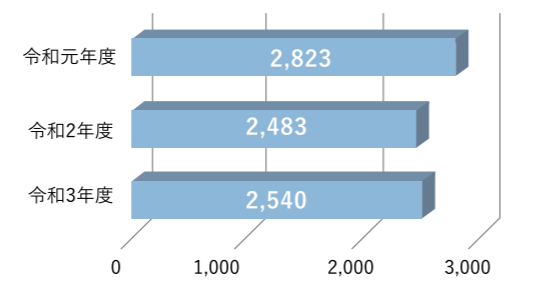
できるだけ自立し活動的な在宅生活が送れるように、充実した専門職が、医師の医学的管理に基づいて質の高いリハビリテーション・ケアを提供します。リハビリの提供プロセスを管理するリハビリテーションマネジメントも、最もグレードが高いリハビリマネジメントを99%取得しています。

通所リハビリ利用者のデータ

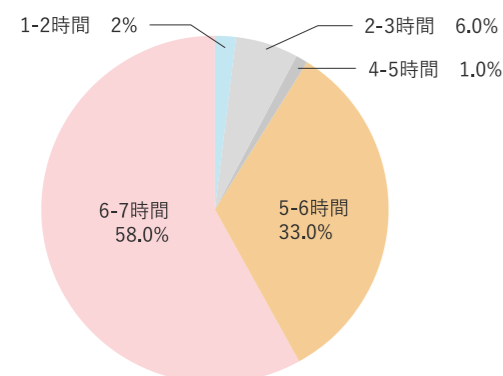
[要介護度分布]



1月当たり平均 通所利用者数



[利用時間の割合]



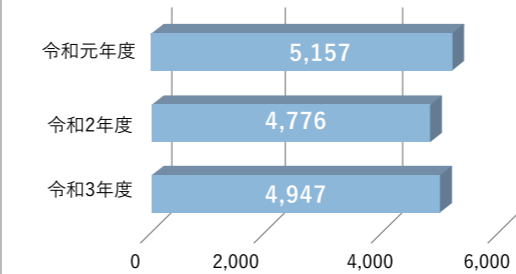
訪問サービス

訪問看護

小児から高齢者まで幅広く対応しています。医療ケアの他、地域のクリニックの先生からの依頼でターミナルの患者さんを受け入れ、在宅生活が安心して送れるよう、緊急体制、定期訪問、臨時訪問がいつでも可能な体制をとっています。

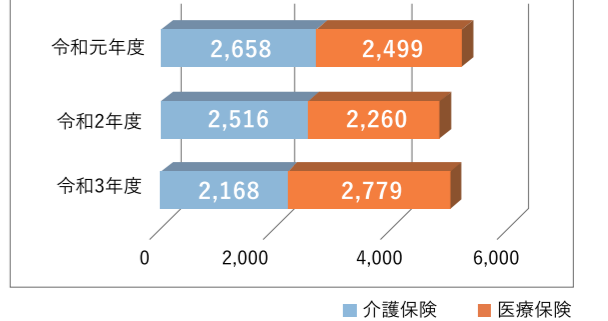
併設病院からの退院後の難病の患者さんは入院中より医療連携部と連携しながら、情報を共有し、スムーズに在宅へ移行できるように支援しています。医療保険も対応しています。

訪問看護 延べ件数



※上記数値は訪問看護ステーションの看護のみ

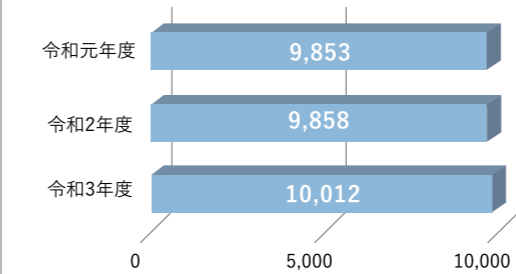
介護保険・医療保険件数(訪問看護のみ)



訪問リハビリ

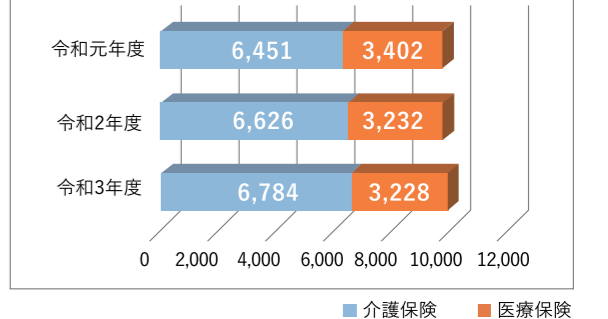
退院・退所後及び在宅で生活機能が低下した方の心身機能の維持向上、生活の自立、地域参加を目指し、状態像に合わせたリハビリを実施します。

訪問リハビリテーション 延べ件数



※上記数値は、訪問看護ステーションからのリハビリ+老健からのリハビリ

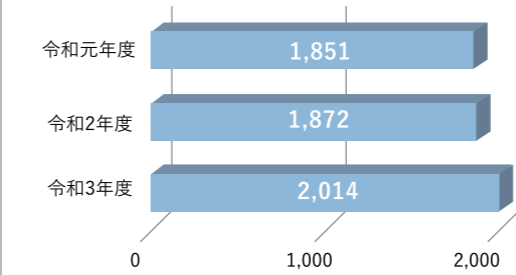
医療保険・介護保険件数(訪問リハビリのみ)



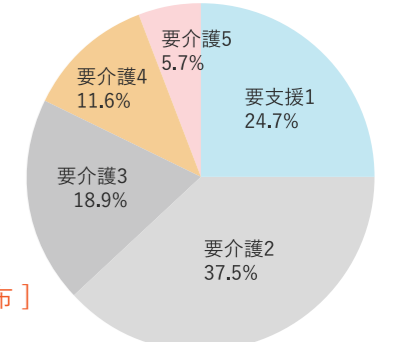
居宅介護支援事業所 熊本機能病院在宅サービスセンター

熊本機能病院、介護老人保健施設清雅苑相談室、訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなどのスタッフと適切な連携を取りながら利用者及び、その家族に応じたきめ細やかなサービスを提供しています。

年間 取扱件数



[要介護度分布]



介護支援専門員	6名(5名・兼務1名)
基礎資格	保健師 看護師 社会福祉士 介護福祉士



厚生労働大臣認定
健康増進施設 指定運動療法施設

スポーツ選手から高齢者まで、体力づくりを専門的にサポート

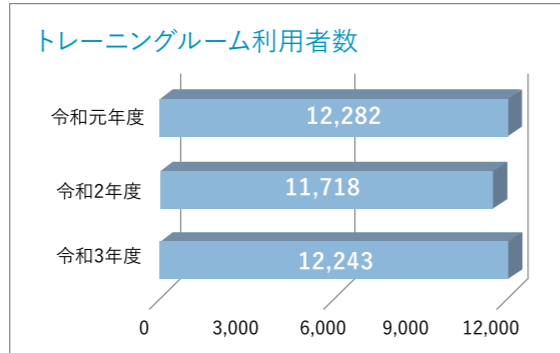
熊本健康・体力づくりセンターは、厚生労働大臣認定の健康増進施設指定運動療法施設です。
当センターは、スポーツ選手のみならず、一般の方の体力づくりに必要なプログラムを専門的に提供する施設です。
身体的側面だけでなく、心理面、栄養面(メンタルトレーニングや食事メニュー作成)からもそれぞれの専門知識、資格を有するトレーナーがサポートに当たります。



主な取り組み

外来心臓リハビリテーションを熊本機能病院と連携して実施

- 【介護予防事業】 大津町、宇城市、熊本市
- 【スポーツ事業】 鹿本高校、熊本国府高校、済々黌高校、九州東海大学、再春館製薬
- 【メディカルチェック】 ロアソン熊本



機能デイトレ 利用者数(人)

	R2	R3
利用者数	583人	4,127人

介護度の内訳(人)

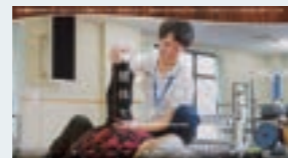
	R2	R3
要支援1	37人	294人
要支援2	42人	223人
要介護1	8人	119人
要介護2	0人	35人
要介護3	5人	26人
要介護4	5人	12人
要介護5	0人	0人



ホームページでブログも書いています。

タブレット、スマートフォンにも対応しています。

<http://medicalfitness-kumamoto.com/>



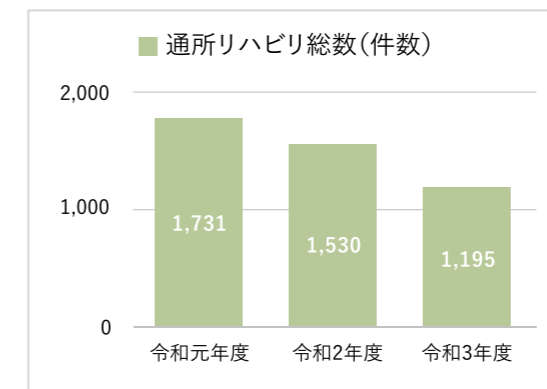
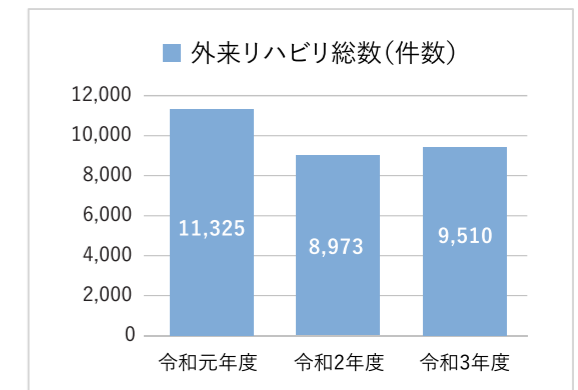
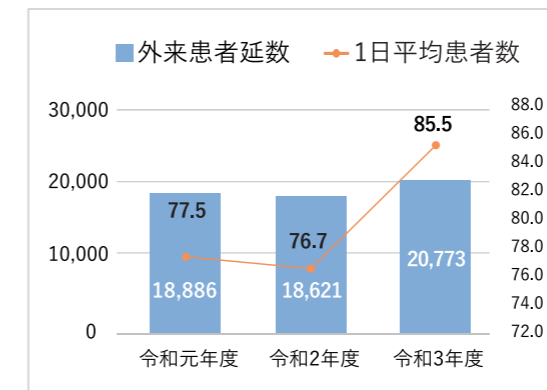
南区で地域に根差した医療を提供する

熊本市南西部の奥古閑町で平成12年に開院した有明海リハビリテーションクリニックは、内科、脳神経内科、整形外科、リハビリテーション科の外来診療・訪問診療に、介護保険適応の通所リハビリテーションセンターを併設したクリニックです。天明地区(旧天明町)に根差した医療を担うとともに、同じ南キャンパス内にある天寿園をはじめとする各施設の入居者や職員の心身の健康維持にも、少数精鋭のスタッフが丸となって取り組んでいます。



主な取り組み

- 一般外来診療の充実化に加え、訪問診療にも力を入れ、天明地区の地域医療の担い手として貢献する。
- 南キャンパス各施設の入居者の健康維持や看取りを実践するとともに、産業医として職員の心身の健康維持を図る。
- 熊本機能病院との連携を通じて、専門的治療の提供や退院後のフォローを行う。
- 南区認知症サポート指定医療機関として、地域の認知症を支える役割を担う。
- 地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携を図り、介護保険サービス(通所リハ)を提供する。



小国杉の香りにつつまれた保育園

「なないろ」は虹が持つ希望あふれるイメージや、子どもたちのきらきら輝く様々な個性、「森」はその子どもたちがすくすくと成長する様子をあらわしています。

新型コロナウイルスの感染拡大で子どもたちの活動も制限される毎日ですが、新たに保育園のインスタを立ち上げ、小さな毎日の取り組みなどを地域に向けて発信したりしています。



ハロウィンの日
(正面玄関前にて)

いっぱいあそんで いっぱいかんじる
あそべる子...たのしく なかよく げんきよく
感じれる子...みて ふれて かんじて

*
ぬくもり(温かさ)のある保育
保育士の資質向上に努め、子どもたちのこころの安定を
図る保育に取り組めます。

*
人・ものとの出会いを工夫し、乳幼児期に大切な
「やってみよう」という気持ちを高めます。



主な取り組み

- ◎ 園外活動・戸外遊びの充実
- ◎ 季節ごとの行事や遊び
 - 4月 入園式・クラス懇談会
 - 5月 内科検診・芋苗植え
 - 6月 歯科検診・プール開き
 - 7月 七夕会
 - 9月 ミニ運動会(2021年度は中止)
 - 10月 ハロウィン
 - 11月 芋ほり
 - 12月 クリスマスお楽しみ会
 - 2月 節分
 - 3月 ひな祭り会・お別れ会/卒園式

- 毎月の誕生会
- 専門講師による
リトミック(リズムあそび)
なないろりんご(英語あそび)
- お弁当の日の実施 年3回
- 災害訓練(火災・地震・防犯等)
- 行事等を通しての他部署との交流

寿量グループ事業理念

寿量グループは「Social inclusion(社会的包摂)」の構築に貢献します

社会医療法人寿量会憲章

私たちはQOLの向上とノーマライゼーションの確立への道を歩みます

熊本機能病院の理念

私たちは人間の尊厳を守り健康生活への奉仕をいたします

社会医療法人 寿量会 2021年(令和3年度)年報

発行：社会医療法人 寿量会
〒860-8518
熊本県熊本市北区山室6丁目8番1号
TEL / 096-345-8111

編集・制作：事務部 総務課 経営企画・広報係